

令和2年度
男女共同参画市民アンケート報告書

船 橋 市

市 民 生 活 部 市 民 協 働 課

目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果の分析	
男女共同参画について	6
男女の平等感について	7
女性の活躍について	10
仕事と家庭生活、地域活動について	13
性的少数者について	16
防災について	19
配偶者等からの暴力（DV）について	20
男女共同参画社会実現のため力を入れていくべきこと	21
III 質問と単純集計表	22

I 調査の概要

1 調査の目的

このアンケートは、男女共同参画社会の形成に向けて、広く市民の皆様に男女平等に関する意識やご意見等をお聞きし、今後の船橋市の男女共同参画施策に反映させていくための基礎資料とすることを目的としています。

2 調査の内容

- (1) 男女共同参画について
- (2) 男女の平等感について
- (3) 女性の活躍について
- (4) 仕事と家庭生活、地域活動について
- (5) 性的少数者について
- (6) 防災について
- (7) 配偶者等からの暴力（DV）について
- (8) 男女共同参画社会実現のため力を入れていくべきこと

3 調査の設計

- (1) 調 査 地 域・・・船橋市全域
- (2) 調 査 対 象 者・・・船橋市に居住する18歳以上の男女
- (3) 標 本 数・・・2,000人
- (4) 抽 出 方 法・・・住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調 査 方 法・・・郵送による配布・回収
- (6) 調 査 期 間・・・令和2年9月10日～令和2年9月30日

4 回収結果

回収数 844人（回答率 42.2%）

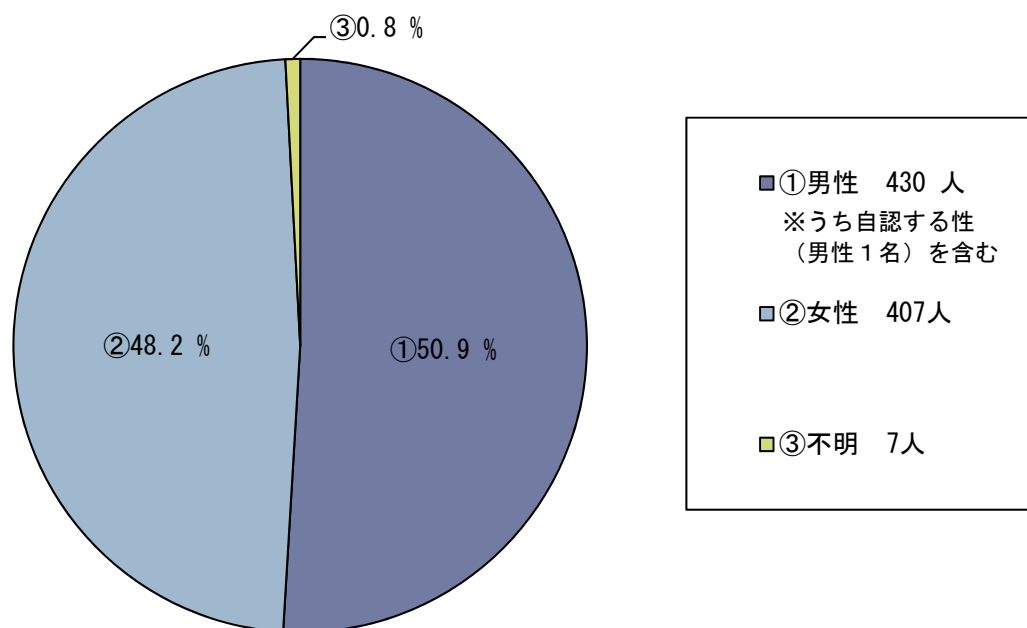
5 報告書の見方

- (1) 各項目のはじめに質問形式と共に示してある単純集計のnは、回答者数のことです。
- (2) 分析に使用したパーセント表示は、原則として、小数点第2位で四捨五入して小数点第1位までを表示しました。したがって、比率の合計が100%にならないものがあります。

6 標本構成

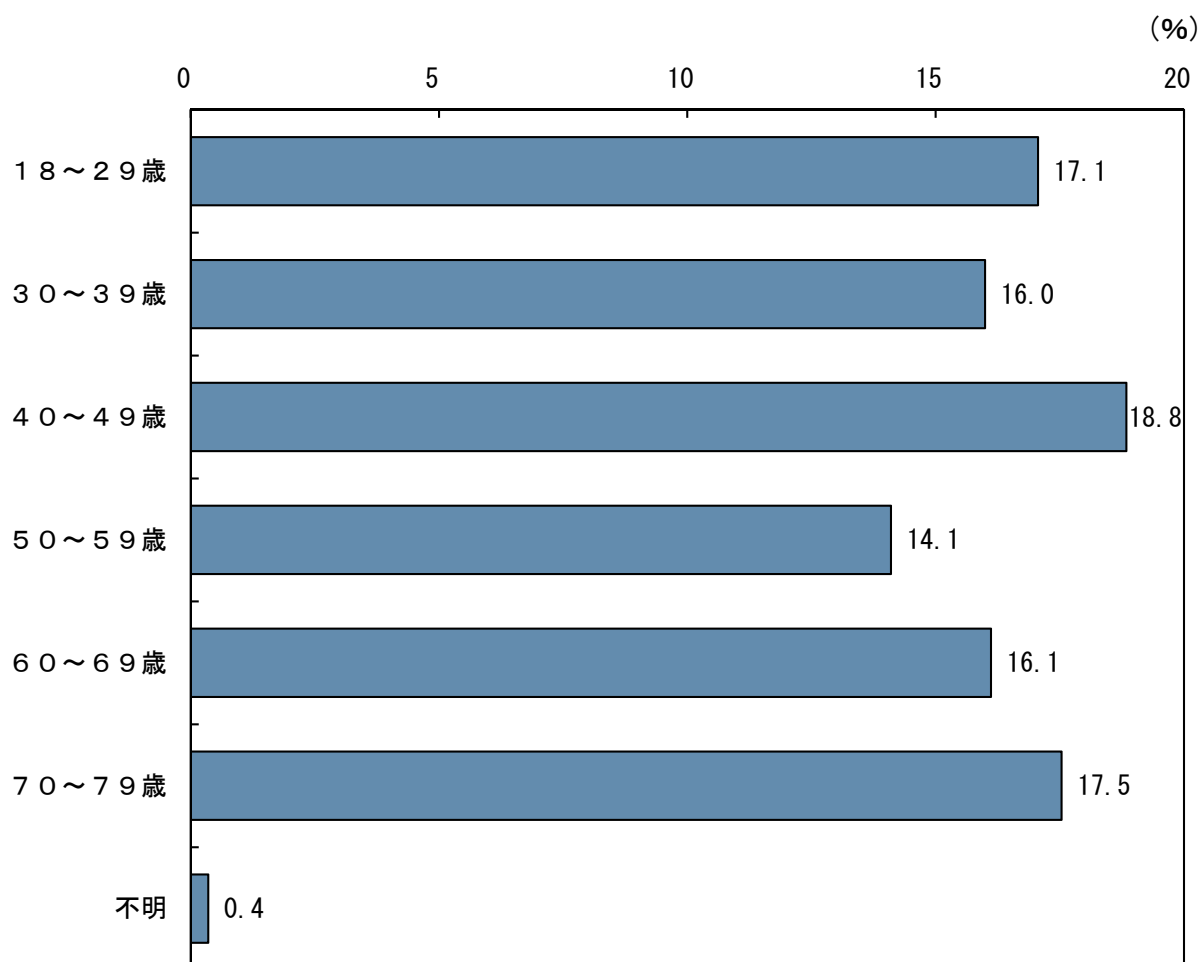
(1) 性別

全体 (n = 844)



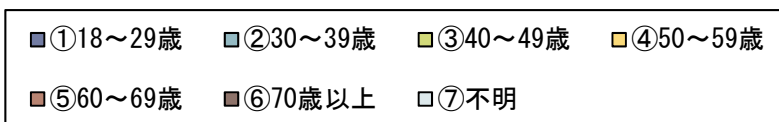
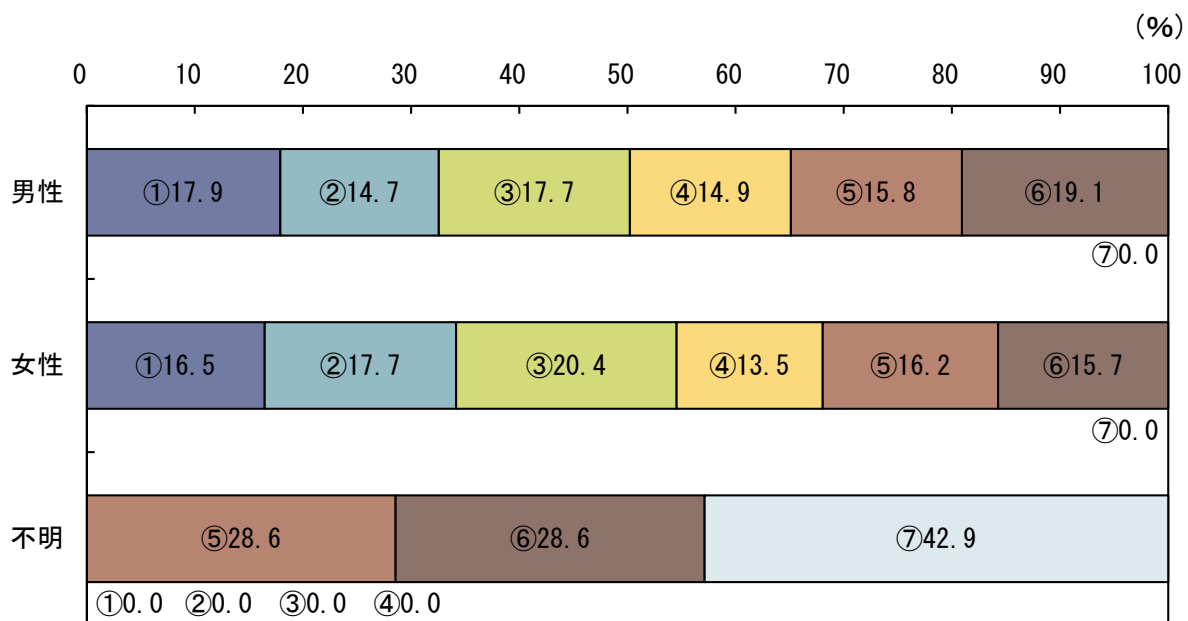
(2) 年代別

(n = 844)



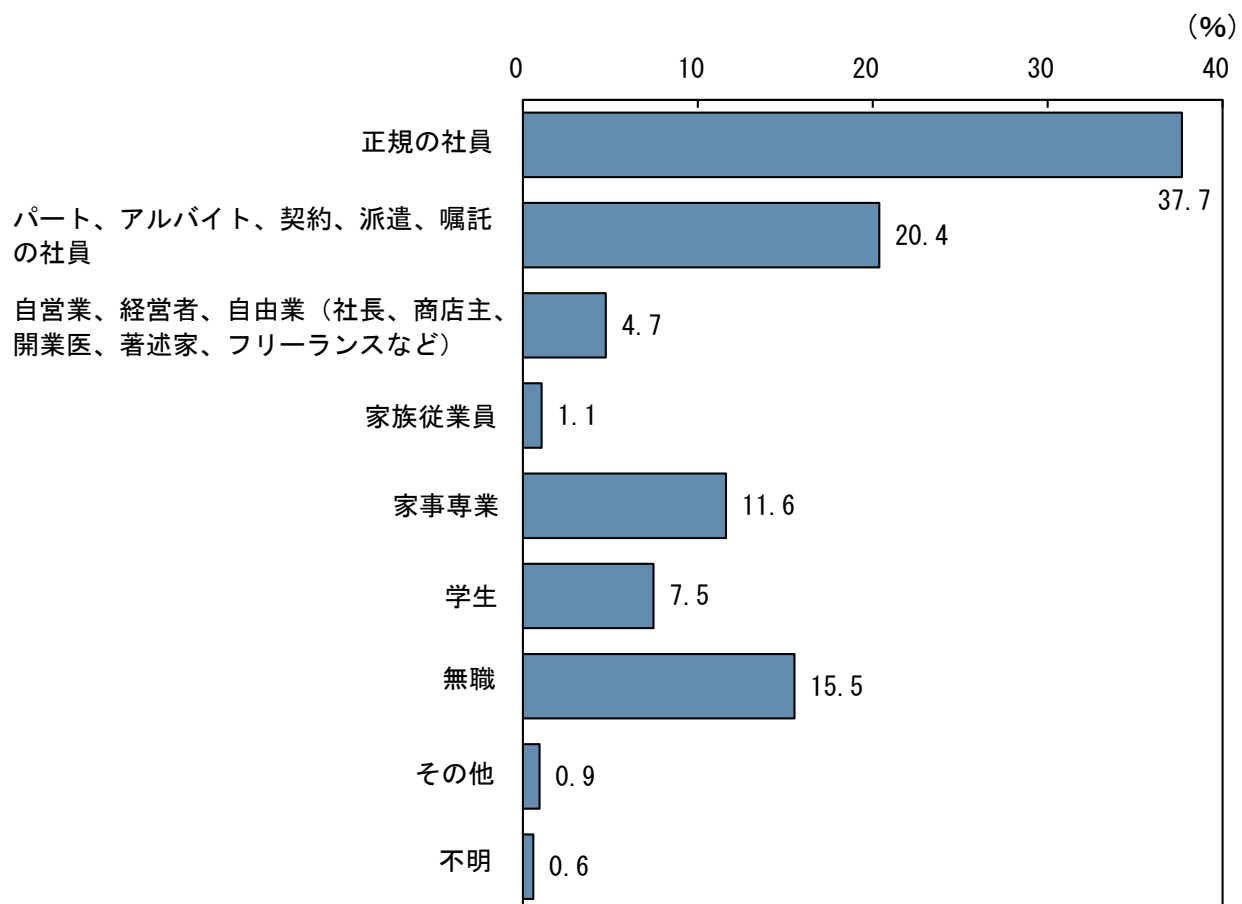
【性別ごとの年代】

男性(n = 430) 女性(n = 407) 不明(n = 7)



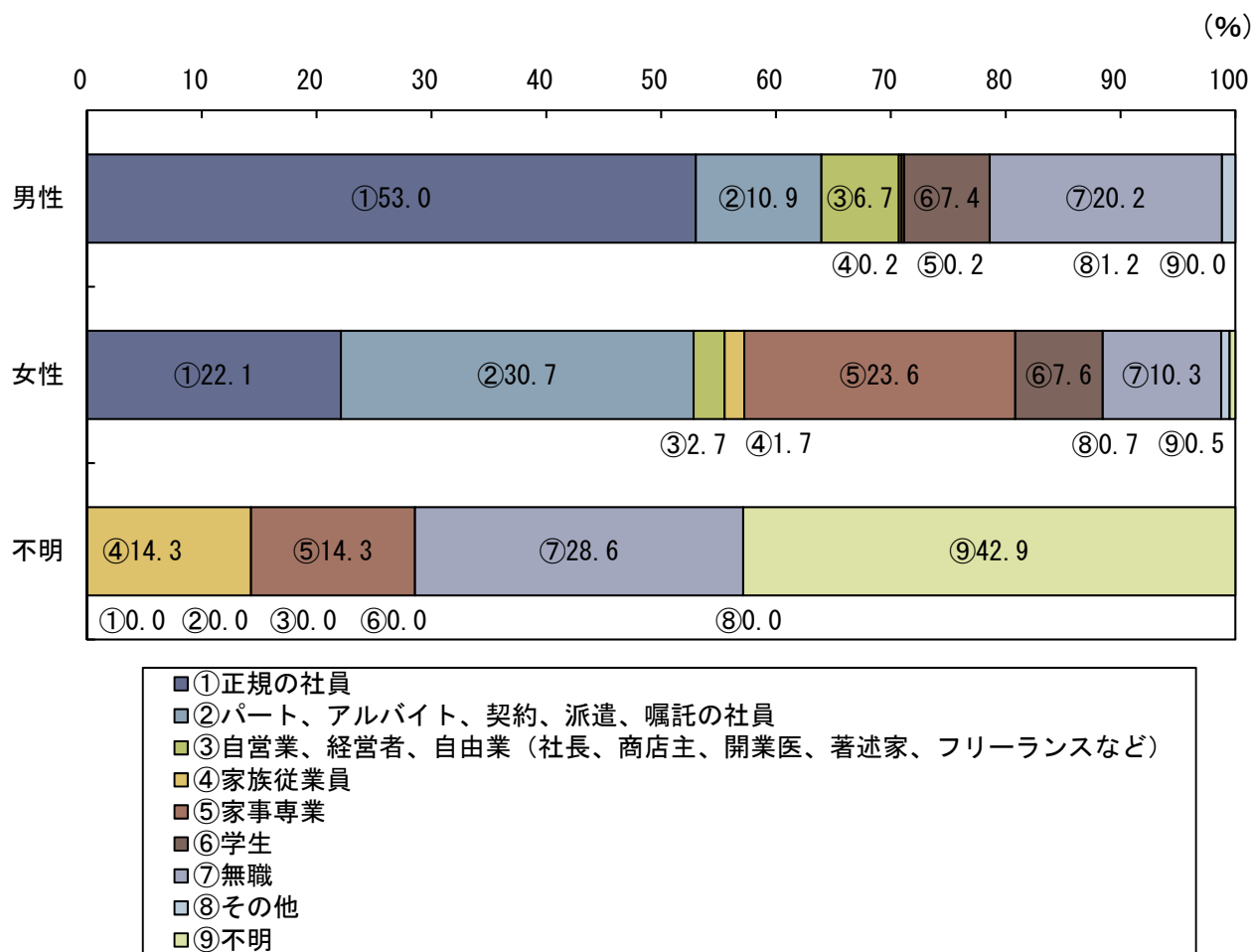
(3)職業別

(n = 844)



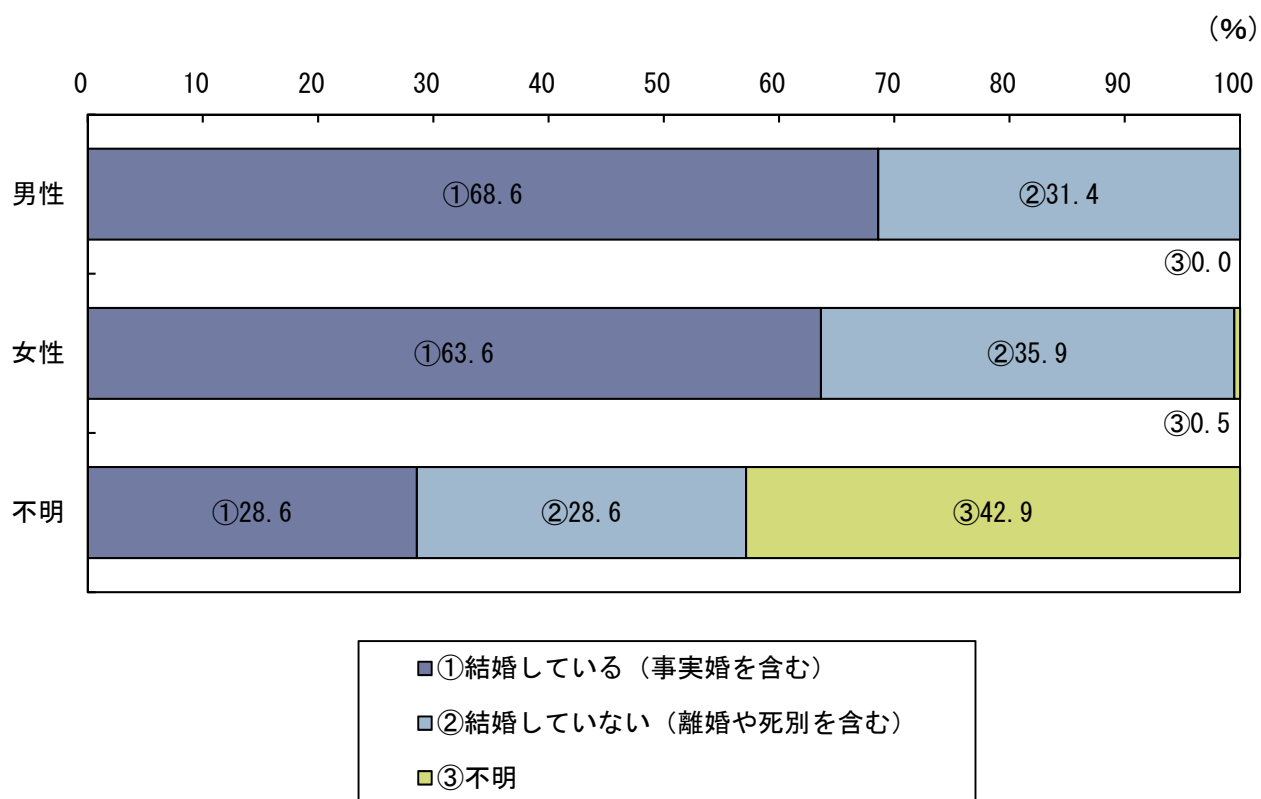
【性別ごとの職業】

男性(n = 430) 女性(n = 407) 不明(n = 7)



(4) 結婚

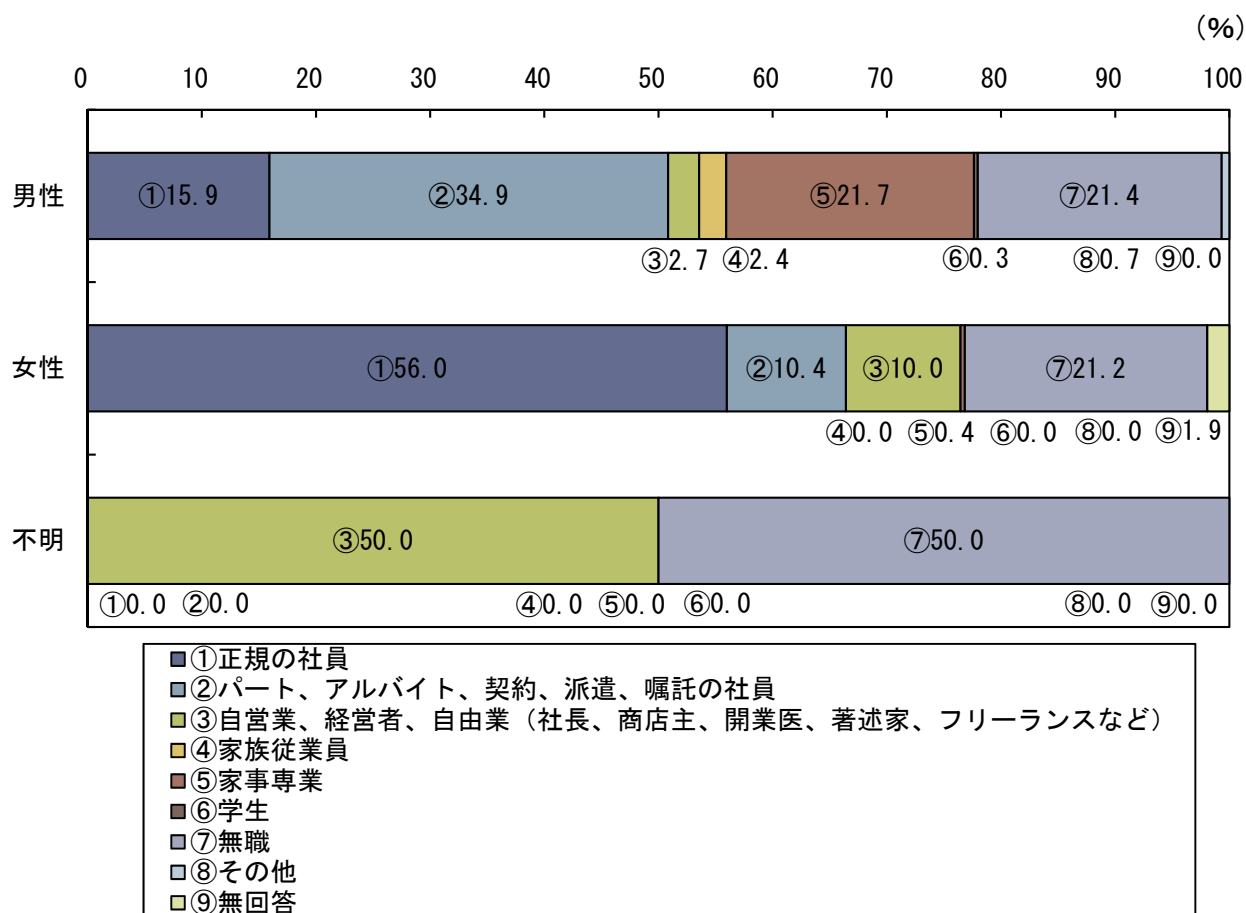
男性(n = 430) 女性(n = 407) 不明(n = 7)



(5) 配偶者の職業(結婚している人のみ。結婚には、事実婚を含む)

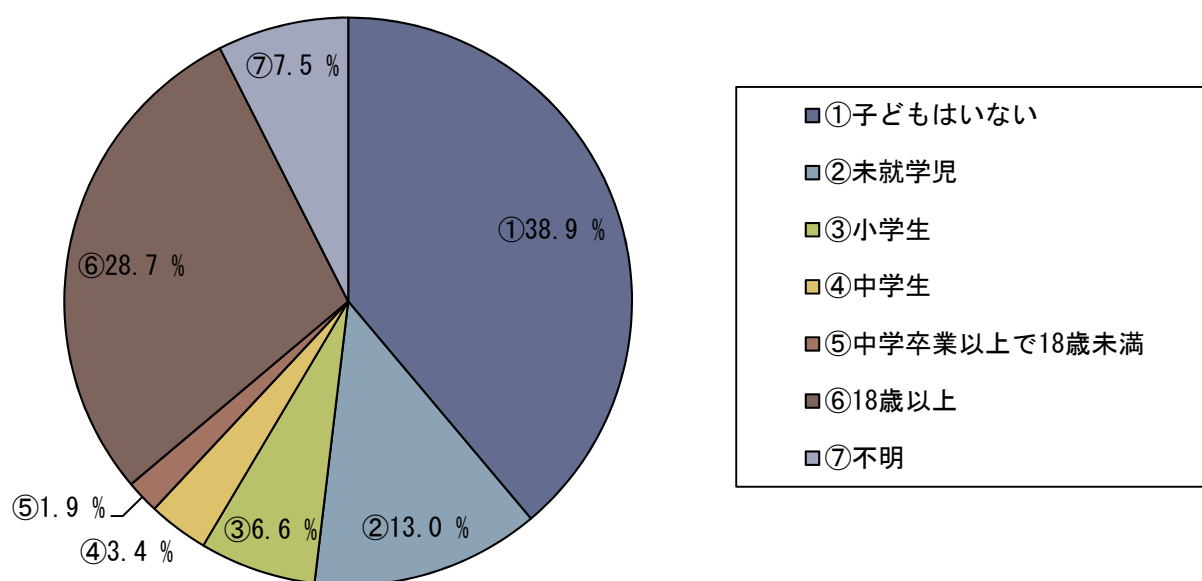
【性別ごとの職業】

男性(n = 295) 女性(n = 259) 不明(n = 2)



(6) 子ども(同居にかぎる)

(n = 844)

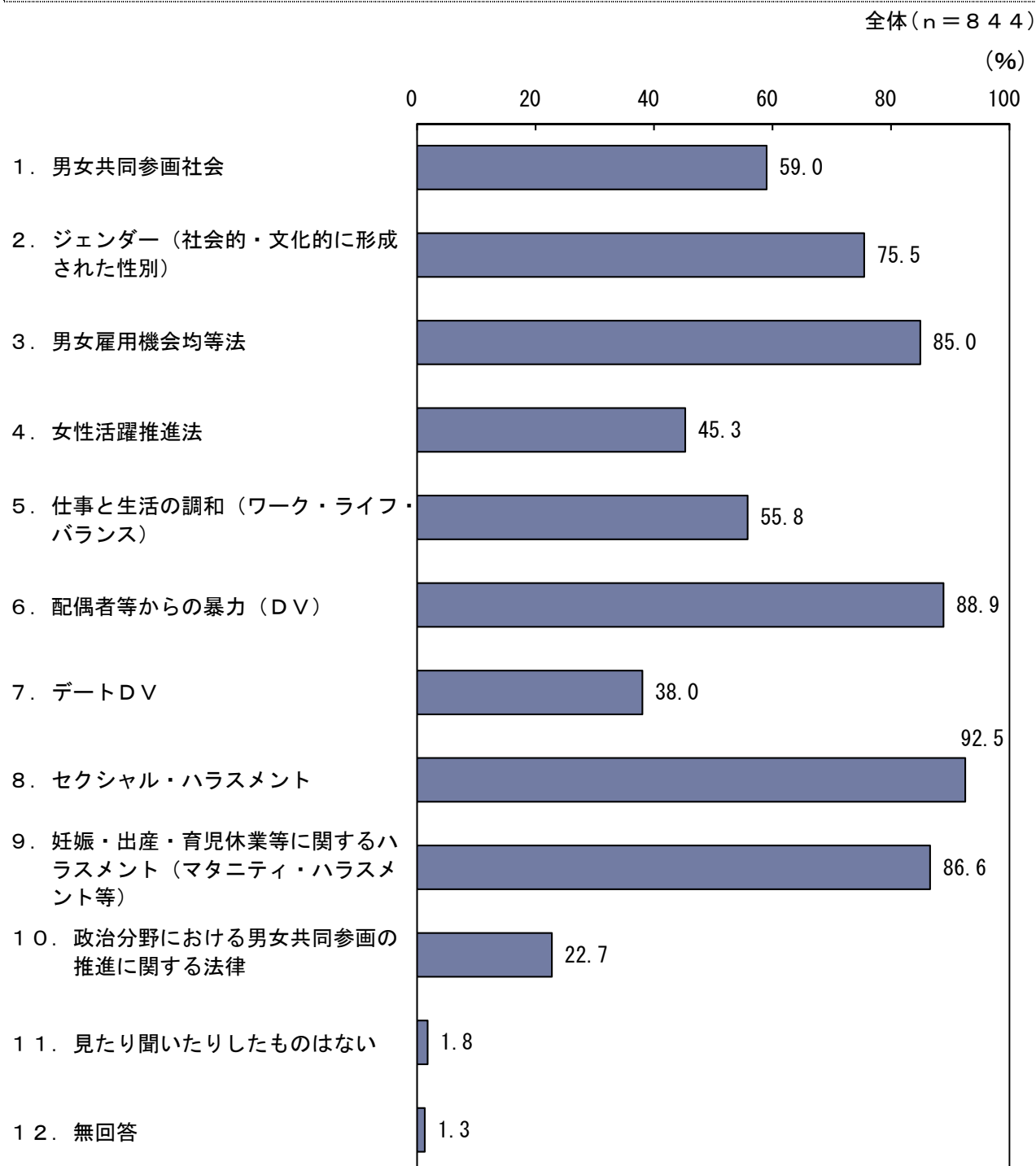


Ⅱ 調査結果の分析

[男女共同参画について]

◆男女共同参画に関する用語の周知度

問 1. これらの言葉を、あなたは見たり聞いたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)



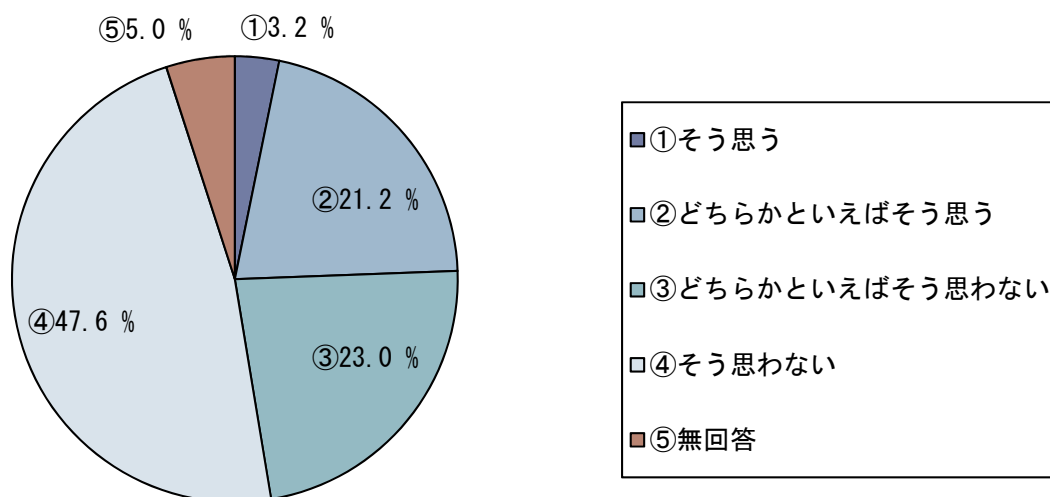
男女共同参画に関する用語の周知について尋ねたところ、「セクシャル・ハラスメント」が最も多く92.5%、次いで「配偶者等からの暴力」が多く88.9%となっている。

[男女の平等感について]

◆「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問2. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。(〇は1つ)

全体(n = 844)



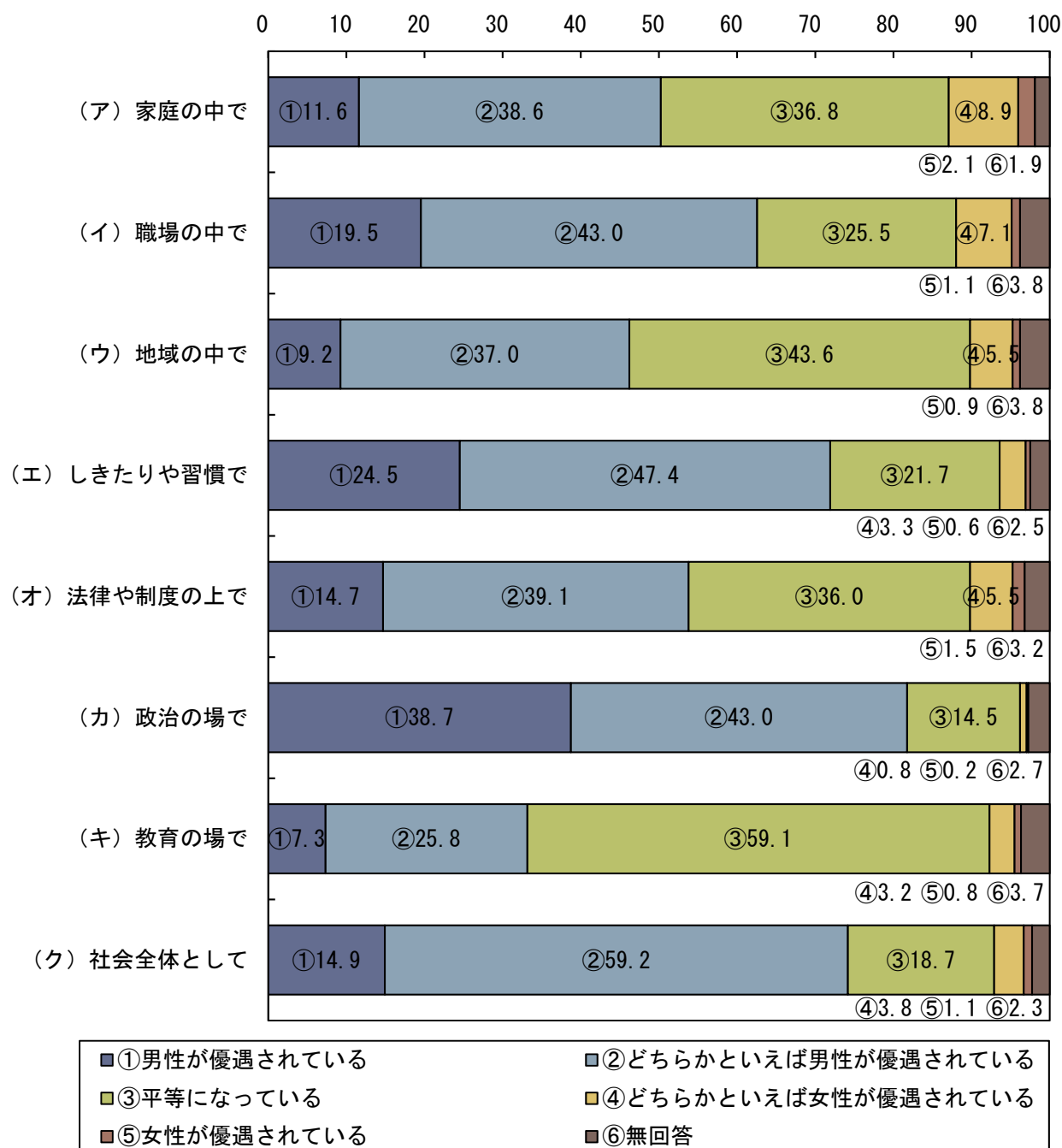
「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うか尋ねたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は24.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた回答は70.6%となっている。

◆男女の地位の平等性

問3. あなたは、次の場面で男女の地位はどのようになっていると思いますか。(それぞれ〇は1つ)

全体(n = 844)

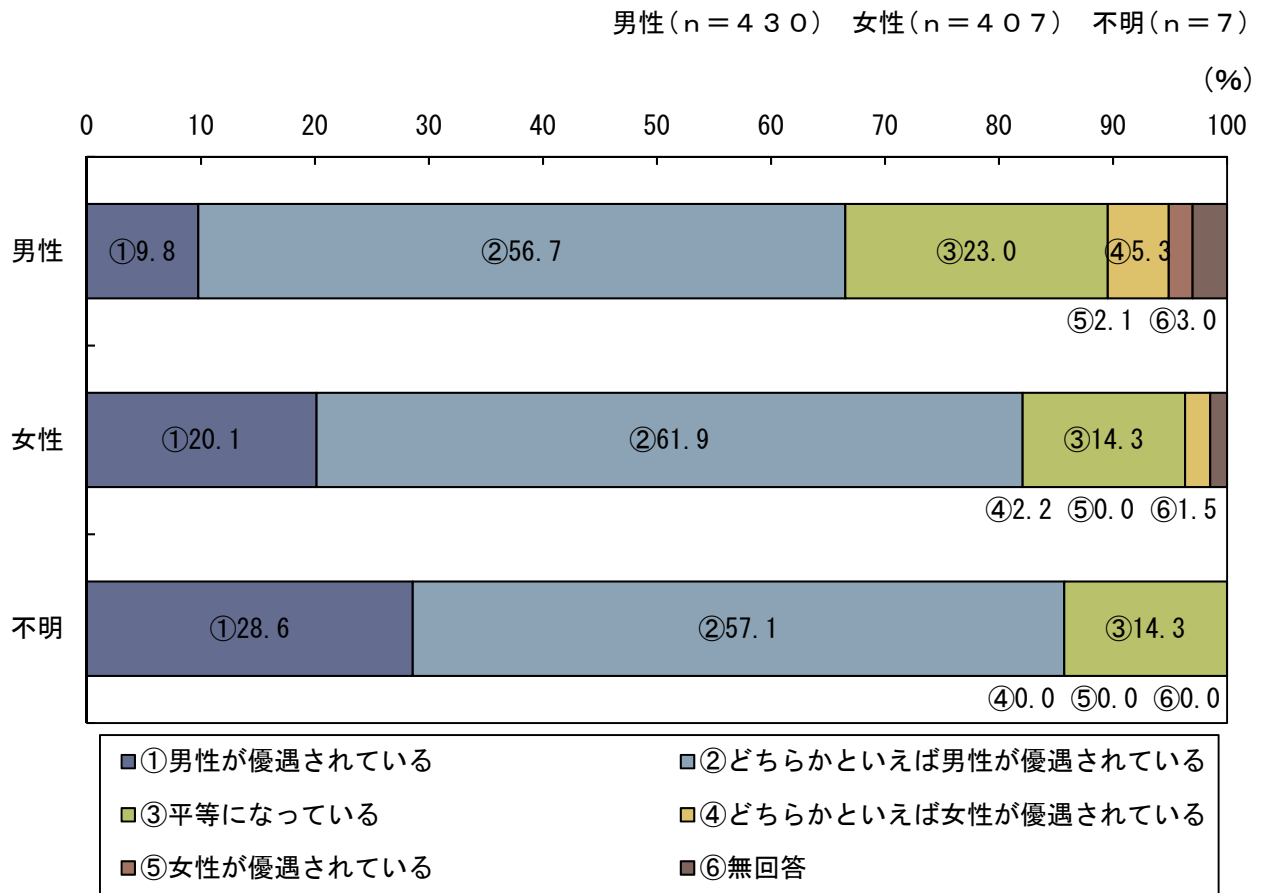
(%)



男女の地位の平等性について尋ねたところ、「平等になっている」は、「教育の場で」が59.1%、「地域の中で」が43.6%、「家庭の中で」が36.8%の順になっている。「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた回答は「政治の場で」が81.7%、「社会全体として」が74.1%、「しきたりや習慣で」が71.9%となっている。

一方、「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた回答は、多くて1割をやや超える程度で、男性に比べておおむね低い数値となっている。

【「(ク)社会全体として」の性別による比較】



男女の地位の平等性についての「社会全体として」の項目を性別で比較すると、「男性が優遇されている(どちらかといえば男性が優遇されているも含む)」と感じている男性は66.5%、女性では82.0%となっている。

また、「平等になっている」は男性が23.0%、女性が14.3%となっている。

[女性の活躍について]

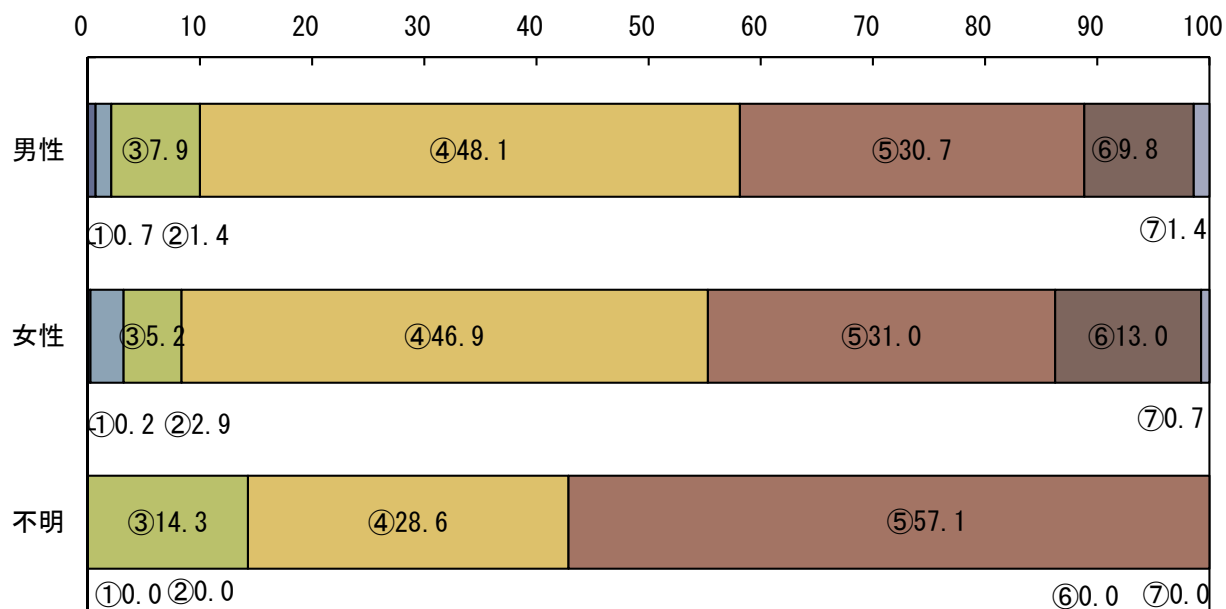
◆女性が職業をもつことに対する意識

問4. 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。(〇は1つ)

【性別による比較】

男性(n=430) 女性(n=407) 不明(n=7)

(%)



- ① 女性は職業をもたない方がよい
- ② 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- ③ 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
- ④ 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
- ⑤ 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- ⑥ その他
- ⑦ 無回答

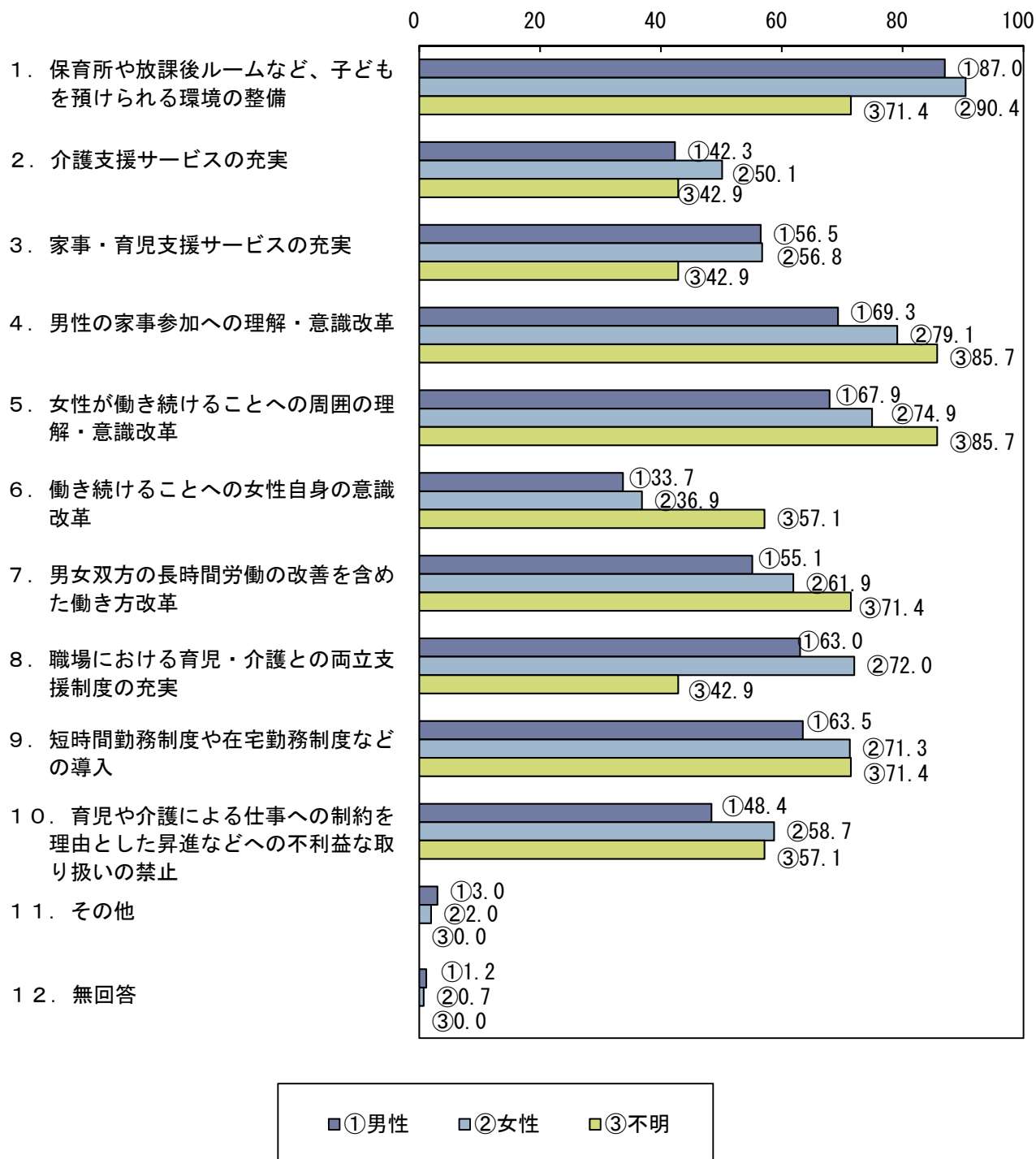
女性が職業をもつことに対する意識を尋ねたところ、男女とも「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が最も多く、男性が48.1%、女性は46.9%、次いで、男女ともに「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が多く、男性が30.7%、女性は31.0%となっている。

◆女性が働き続けるために必要なこと

問5. あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

【性別による比較】

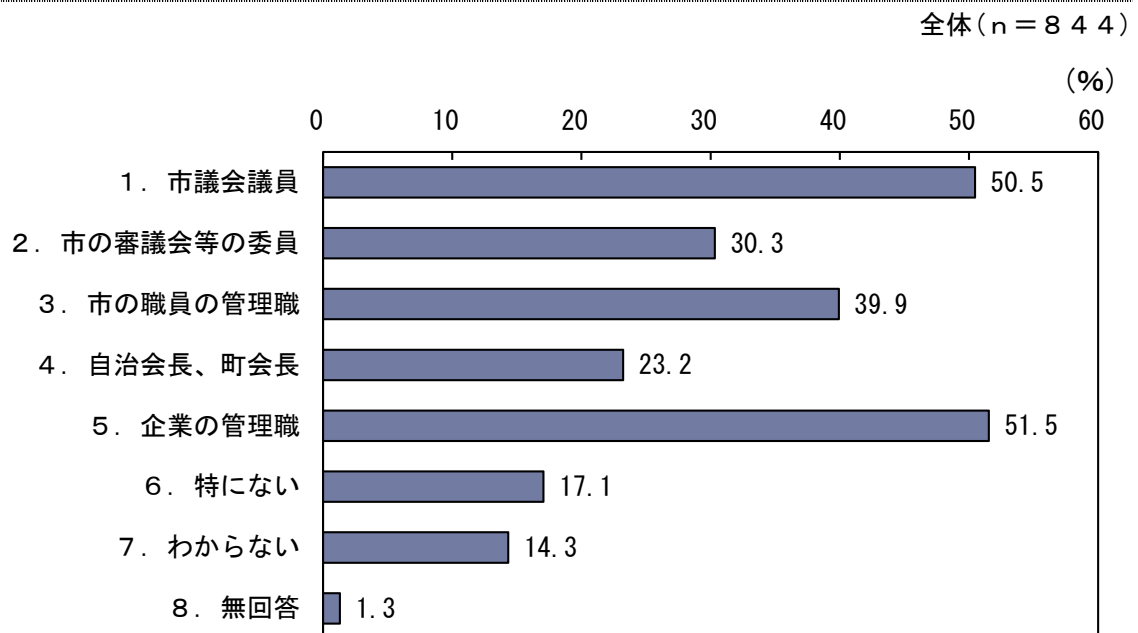
男性(n=430) 女性(n=407) 不明(n=7)
(%)



女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことを尋ねたところ、「保育所や放課後ルームなど、子どもを預けられる環境の整備」が必要だと感じている男性が87.0%、女性が90.4%となっている。

◆女性が増えるとよいと思う役職

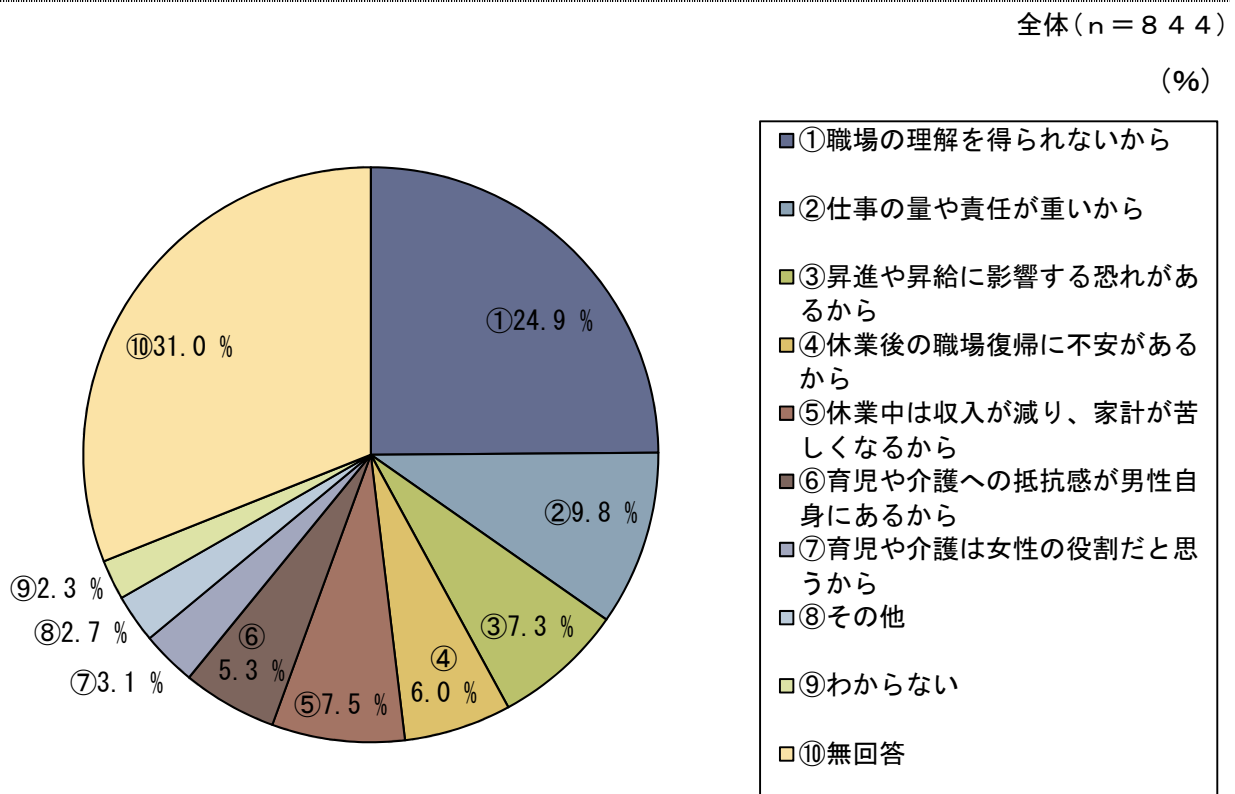
問6. 次にあげる職業や役職において、今後女性が増えるとよいと思うのはどれですか。
(〇はいくつでも)



今後女性が増えるとよいと思う役職を尋ねたところ、「企業の管理職」が最も多く51.5%、次いで、「市議会議員」が50.5%となっている。

◆育児・介護休業を取る男性が少ない主な要因と思うもの

問7. 育児休業や介護休業を取る男性は女性に比べて少ない現状がありますが、その主な要因としてあなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。(〇は1つ)



育児・介護休業を取る男性が少ない主な要因と思うものを尋ねたところ、「職場の理解を得られないから」が最も多く24.9%となっている。

[仕事と家庭生活、地域活動について]

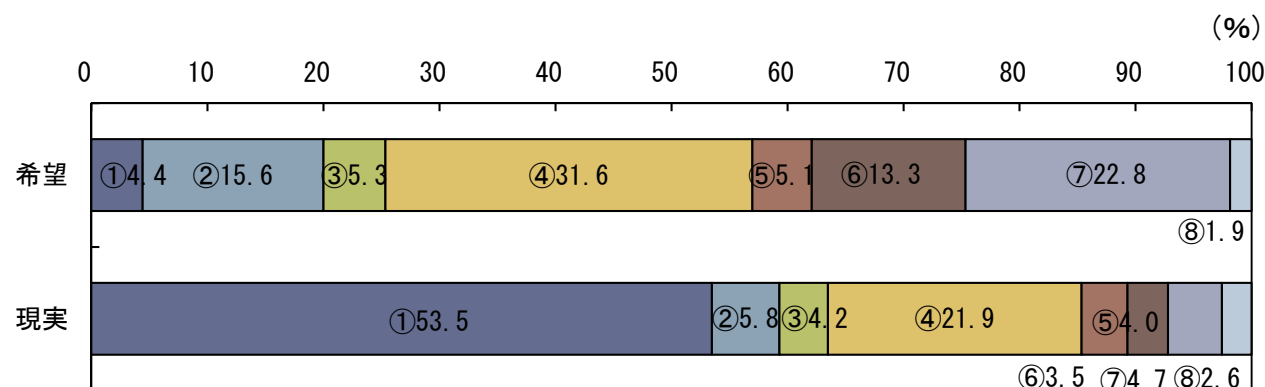
◆生活の中で優先するもの＜希望＞と＜現実＞の比較

問8. 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの希望に最も近いものと、あなたの現実にもっと近いものをお伺いします。(それぞれ○は1つ)

【性別による比較】

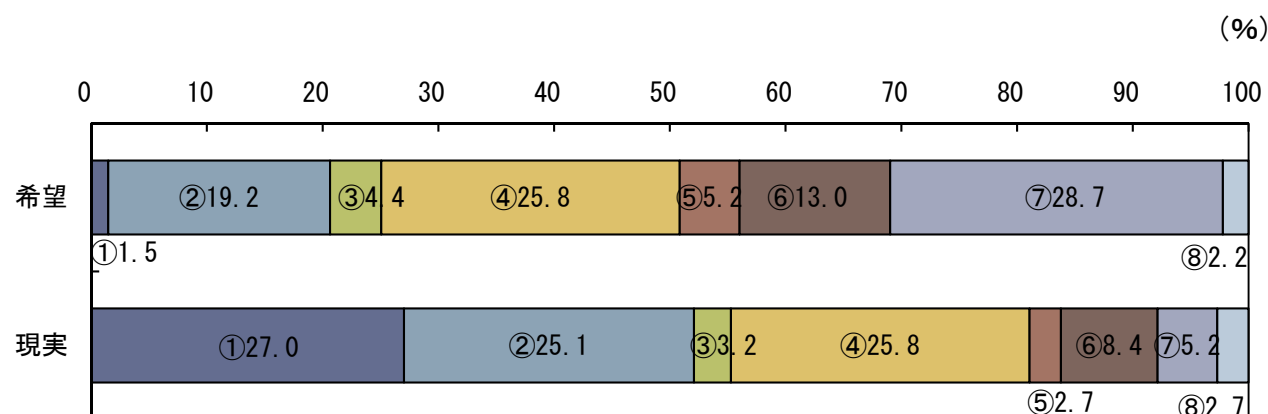
＜男性＞

男性(n = 430)



＜女性＞

女性(n = 407)



- ① 「仕事」優先
- ② 「家庭生活」優先
- ③ 「地域・個人の生活」優先
- ④ 「仕事」と「家庭生活」優先
- ⑤ 「仕事」と「地域・個人の生活」優先
- ⑥ 「家庭生活」と「地域・個人の生活」優先
- ⑦ 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- ⑧ 無回答

生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について尋ねたところ、＜希望＞では、男性は『「仕事」と「家庭生活」優先』が最も多く31.6%、女性は『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』が28.7%、次いで、男性は『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』が22.8%、女性は『「仕事」と「家庭生活」優先』が25.8%となっている。

それに対し、＜現実＞では、男女とも『「仕事」優先』が最も多く男性が53.5%、女性が27.0%で、次いで男女とも『「仕事」と「家庭生活」優先』で、男性が21.9%、女性が25.8%となっている。

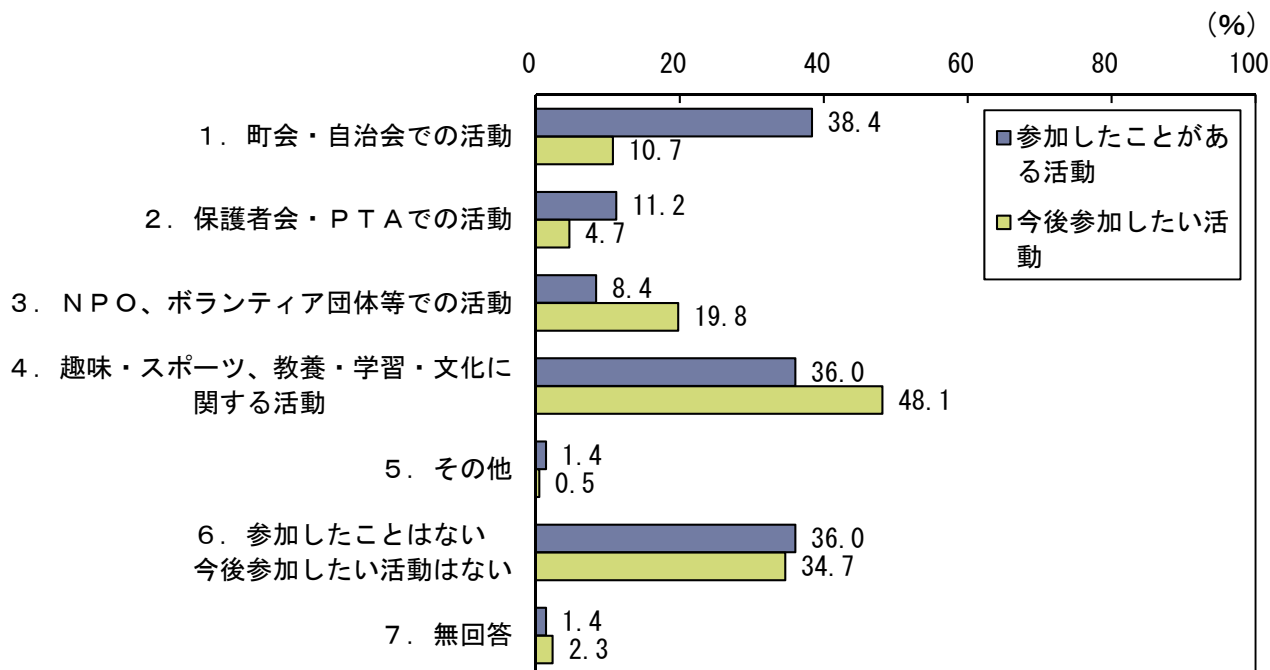
◆地域活動への参画

問9. 次にあげる地域活動の中で、あなたが「参加したことがある活動」と、「今後参加したい活動」についてお伺いします。(それぞれ〇はいくつでも)

【性別による比較】

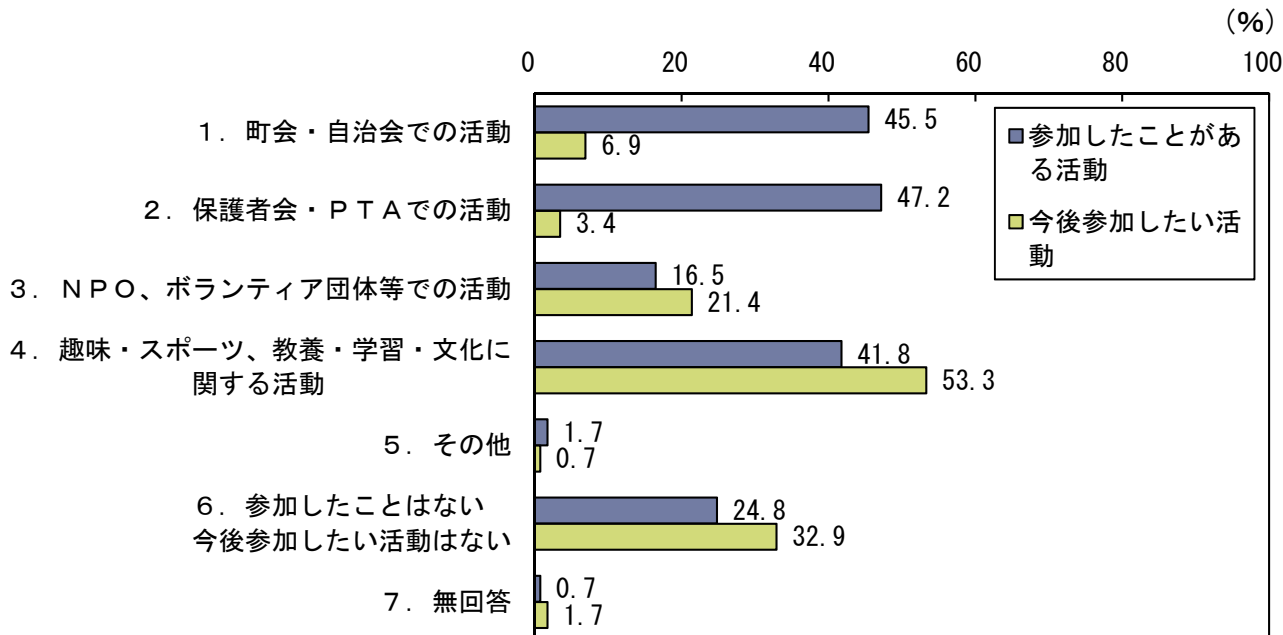
<男性>

男性(n = 430)



<女性>

女性(n = 407)



地域活動の中で、「参加したことがある活動」と「今後参加したい活動」について尋ねたところ、<参加したことがある活動>では、男性は「町会・自治会での活動」が最も多く38.4%、女性は「保護者会、PTAでの活動」が最も多く47.2%、次いで、男性は「趣味・スポーツ、教養・学習・文化に関する活動」と「参加したことはない」が36.0%、女性は「町会・自治会での活動」が45.5%となっている。

それに対し、<今後参加したい活動>では、男女とも「趣味・スポーツ、教養・学習・文化に関する活動」が最も多く男性が48.1%、女性は53.3%、次いで、男女とも「今後参加したい活動はない」が多く、男性が34.7%、女性は32.9%となっている。

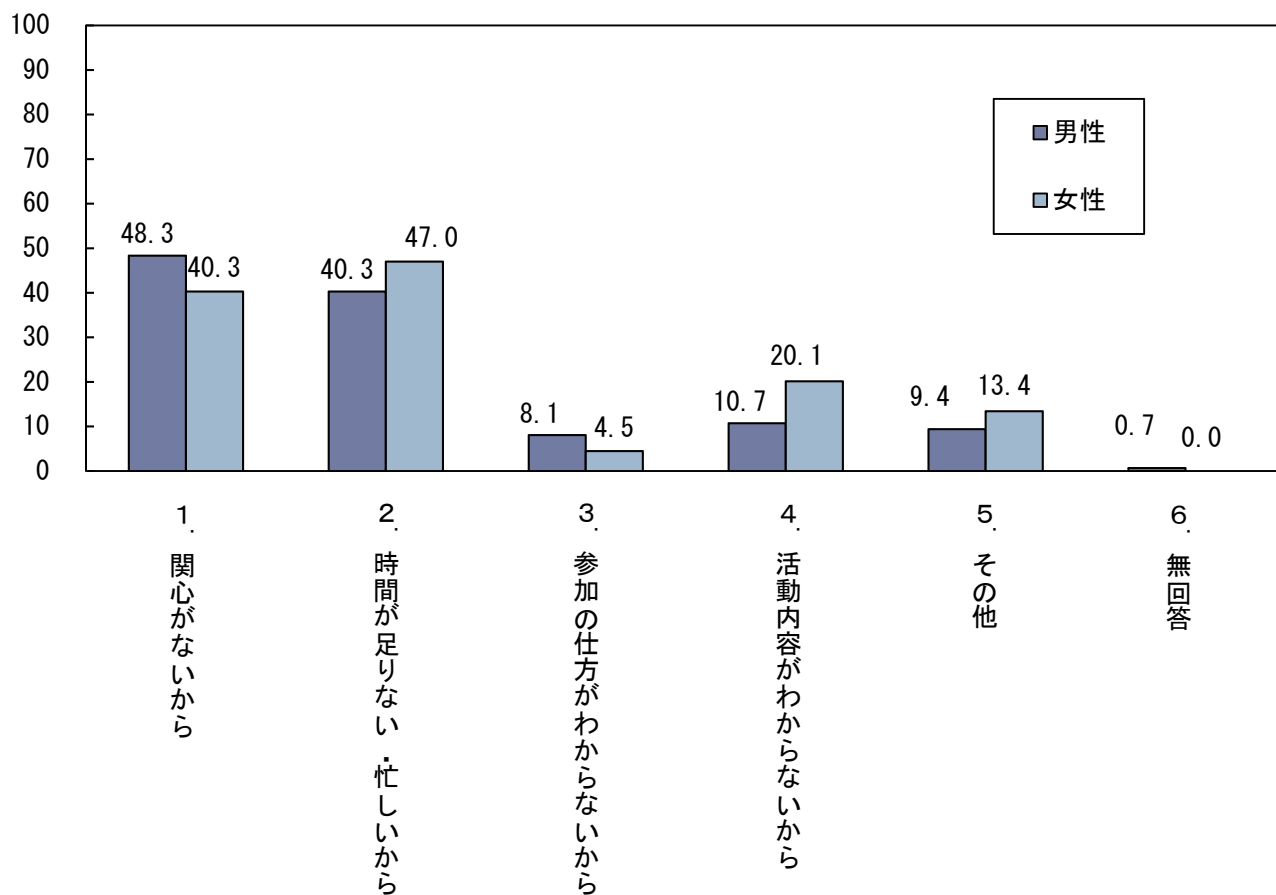
問10. 問9で「6. 今後参加したい活動はない」を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

※問9で「6. 今後参加したい活動はない」と回答した方のみ回答

【性別による比較】

男性(n=149) 女性(n=134)

(%)



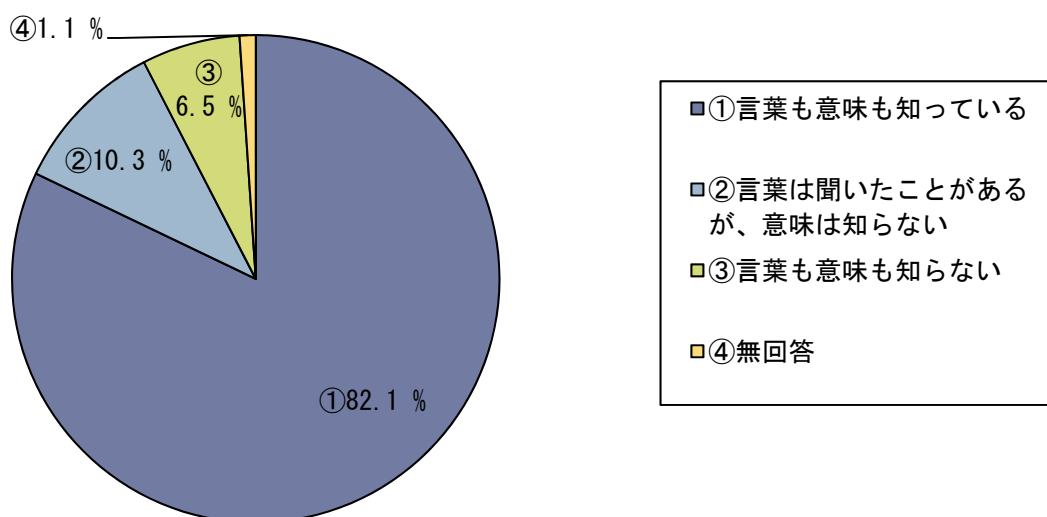
問9で「今後参加したい活動はない」を選んだ理由を尋ねたところ、男性は「関心がないから」が最も多く48.3%、次いで、「時間が足りない・忙しいから」が40.3%、女性は「時間が足りない・忙しいから」が最も多く47.0%、次いで、「関心がないから」が40.3%となっている。

[性的少数者について]

◆「性的少数者」または「L G B T」の認知

問 1 1. あなたは「性的少数者」または「L G B T」という言葉について聞いたことがありますか。
また意味を知っていますか。(〇は1つ)

全体(n = 8 4 4)

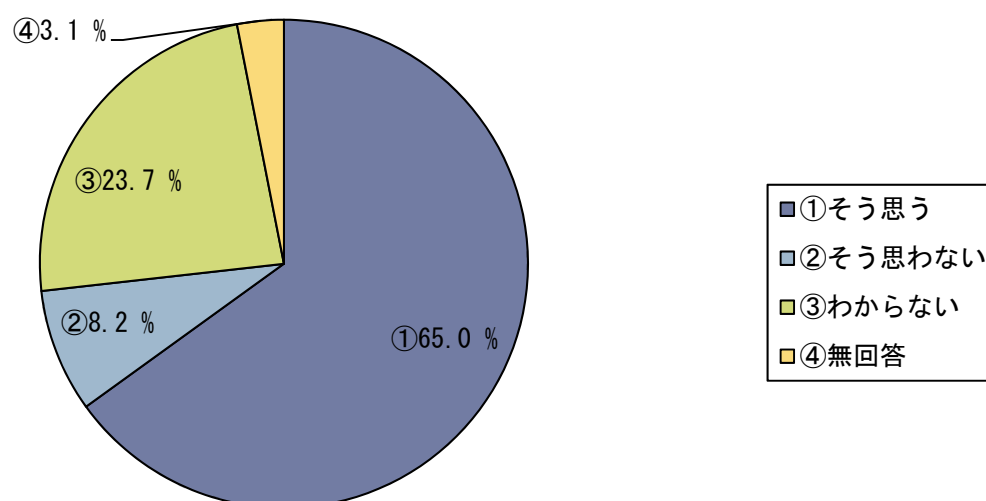


「性的少数者」または「L G B T」という言葉を知っているか尋ねたところ、「言葉も意味も知っている」が82.1%と最も多く、次いで「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」が10.3%、「言葉も意味も知らない」が6.5%となっている。

◆性的少数者への差別や偏見の有無

問 1 2. あなたは、性的少数者の方が社会的な差別や偏見を受けていると思いますか。(〇は1つ)

全体(n = 8 4 4)

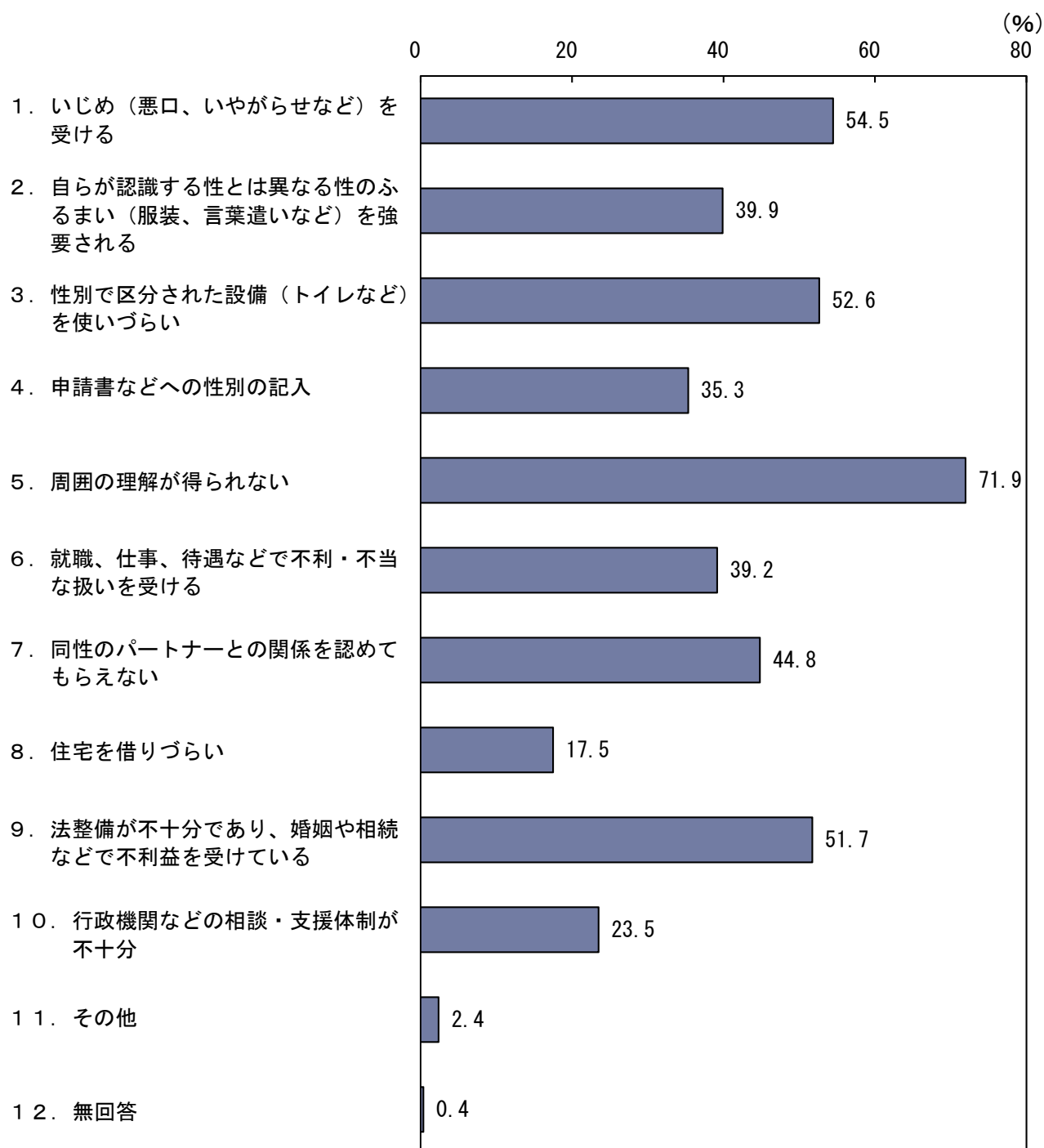


性的少数者の方が社会的な差別や偏見を受けていると思うか尋ねたところ、「そう思う」が65.0%、「そう思わない」が8.2%、「わからない」が23.7%となっている。

問 13. 問 12 で「1. そう思う」を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

※問 12 で「1. そう思う」と回答した方のみ回答

全体 (n = 549)

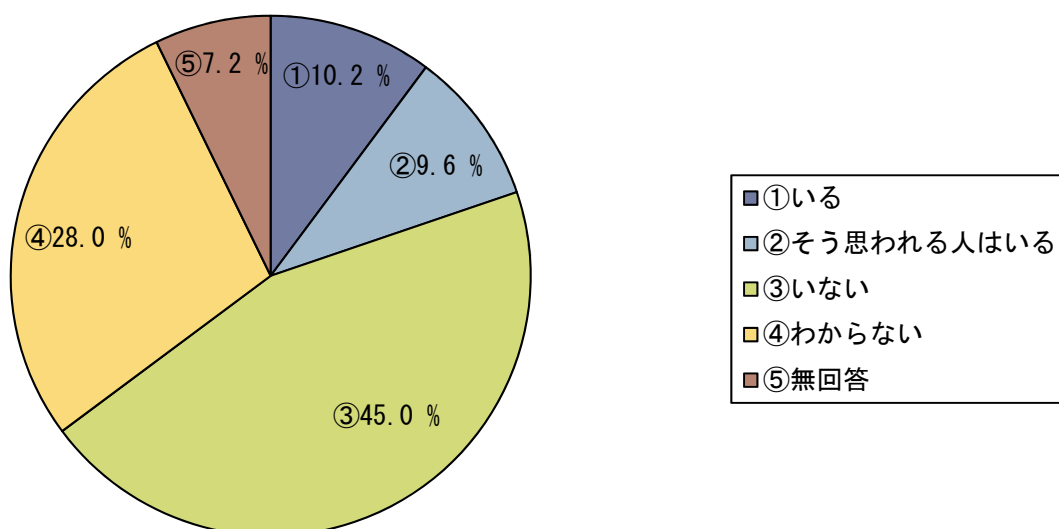


問 12 で「そう思う」を選んだ理由を尋ねたところ、「周囲の理解が得られない」が最も多く 71.9%、次いで「いじめ（悪口、いやがらせなど）を受ける」が多く 54.5%となっている。

◆身近にいる性的少数者の割合

問 1 4. あなたの周りに、性的少数者である人はいますか。(〇は1つ)

全体 (n = 8 4 4)

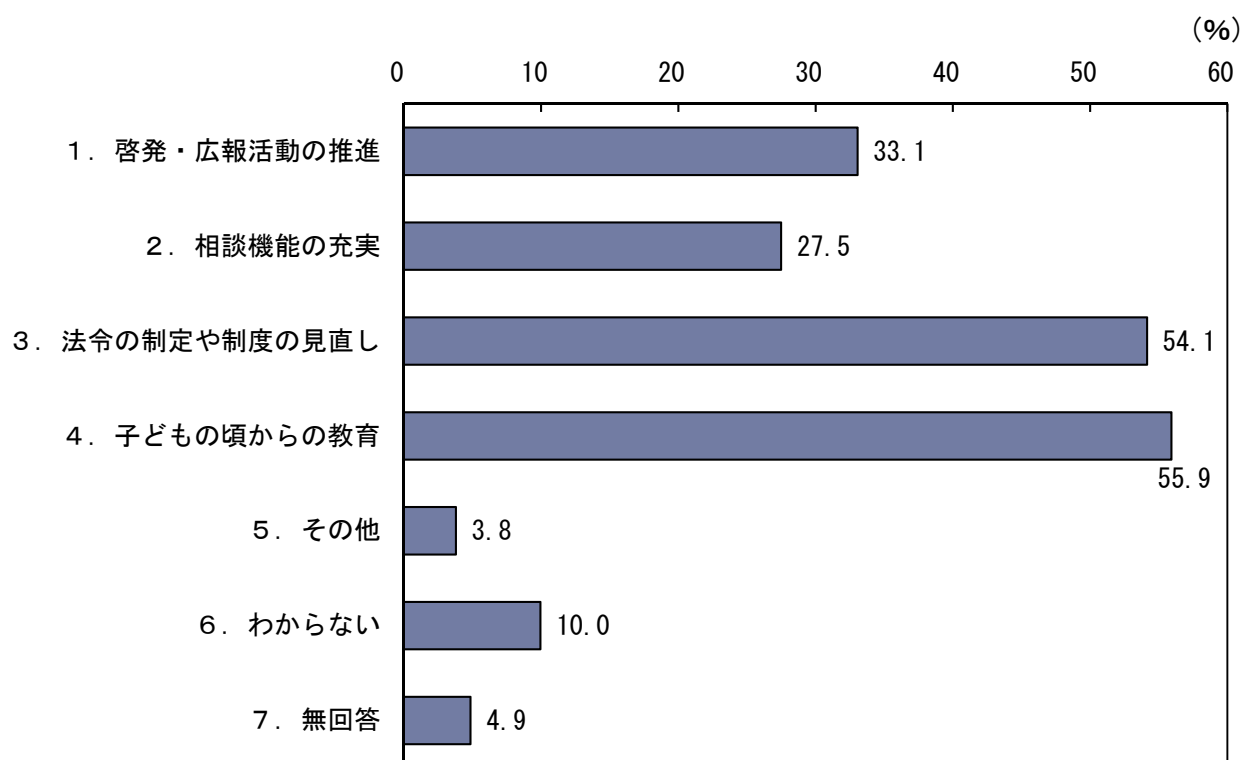


周りに性的少数者である人がいるか尋ねたところ、「いる」が10.2%「そう思われる人はいる」が9.6%となっている。

◆性的少数者の差別や偏見をなくすために必要なこと

問 1 5. あなたは、性的少数者に対する差別や偏見のない社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体 (n = 8 4 4)



性的少数者に対する差別や偏見のない社会の実現に必要なことを尋ねたところ、「子どもの頃からの教育」が最も多く55.9%、次いで「法令の制定や制度の見直し」が54.1%となっている。

[防災について]

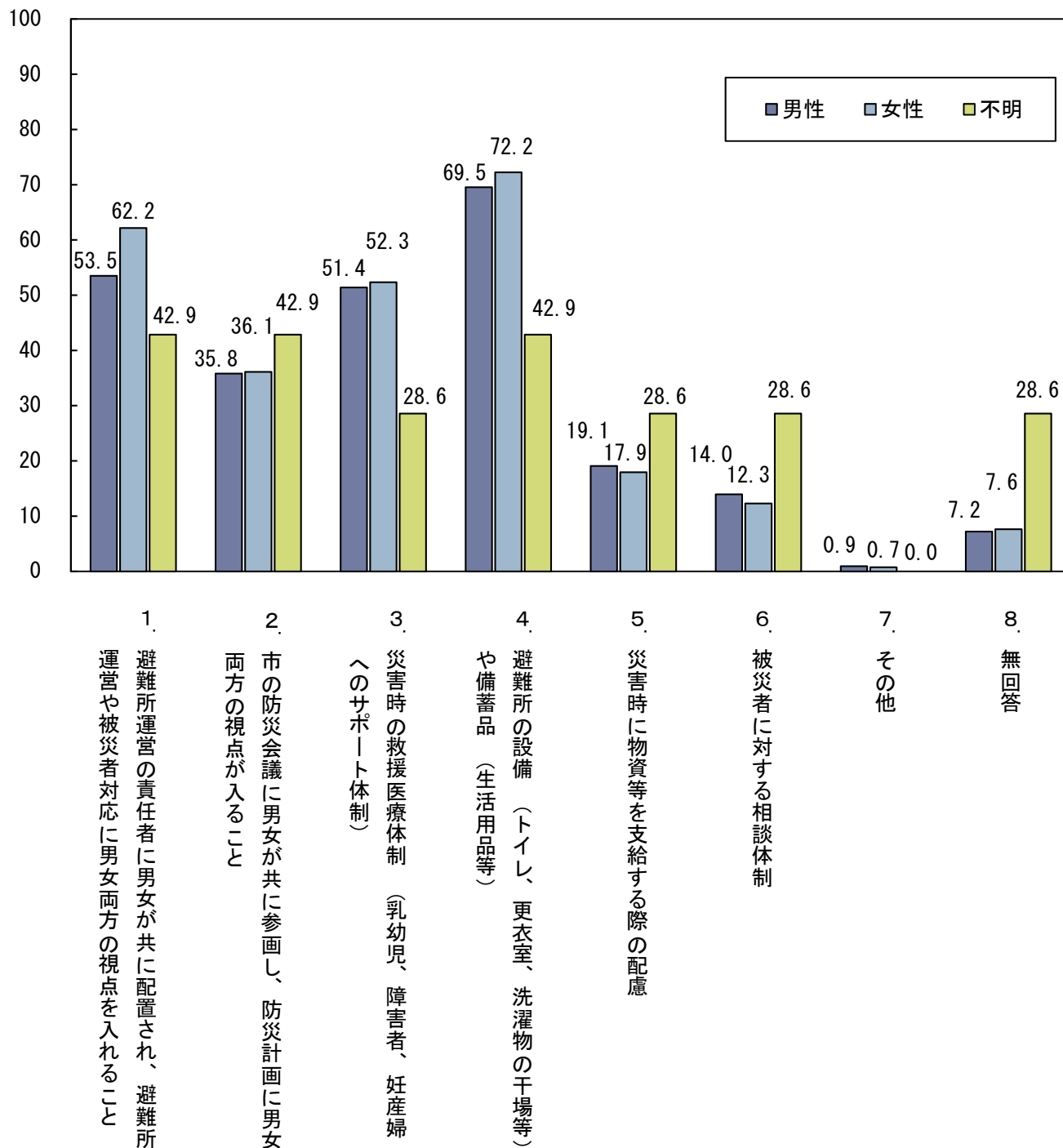
◆防災や災害対策における対応

問 1 6. 防災や災害対策において、男女の性別に配慮した対応が特に必要だと思うことを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

【性別による比較】

男性(n=430) 女性(n=407) 不明(n=7)

(%)

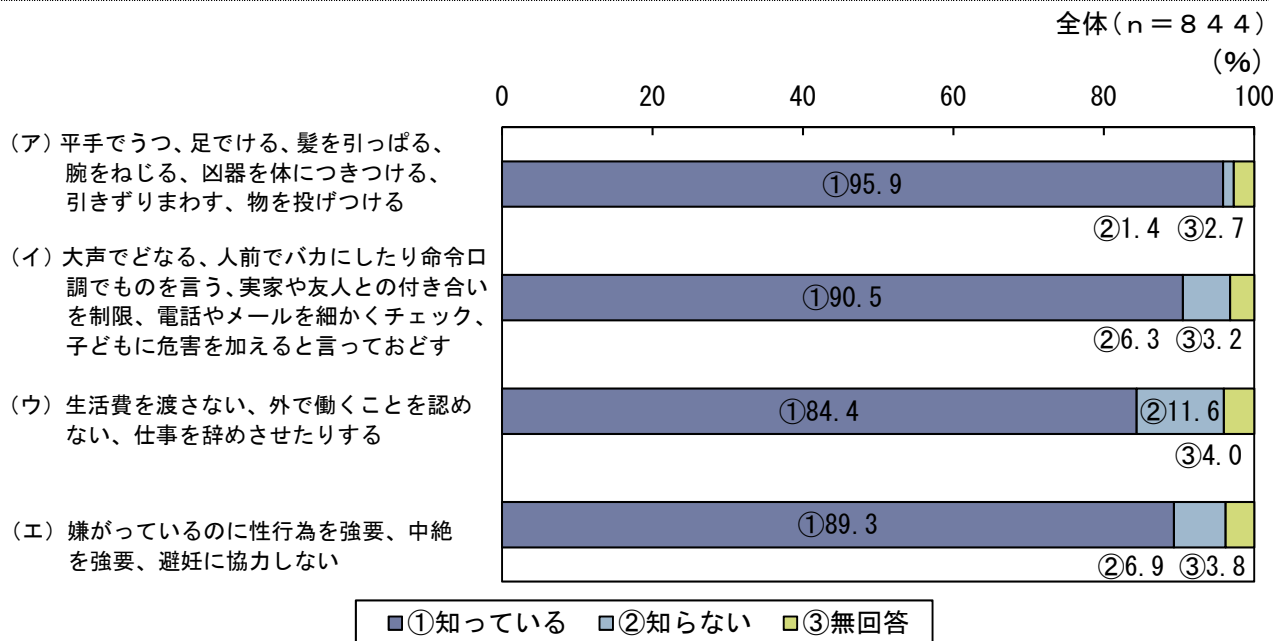


防災や災害対策において、男女の性別に配慮した対応が必要だと思うことを尋ねたところ、男女とも「避難所の設備 (トイレ、更衣室、洗濯物の干場等) や備蓄品 (生活用品等)」が最も多く、男性が69.5%、女性が72.2%、次いで「避難所運営の責任者に男女が共に配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点を入れること」が多く、男性が53.5%、女性が62.2%となっている。

[配偶者等からの暴力（DV）について]

◆DVとなりうる行為の周知度

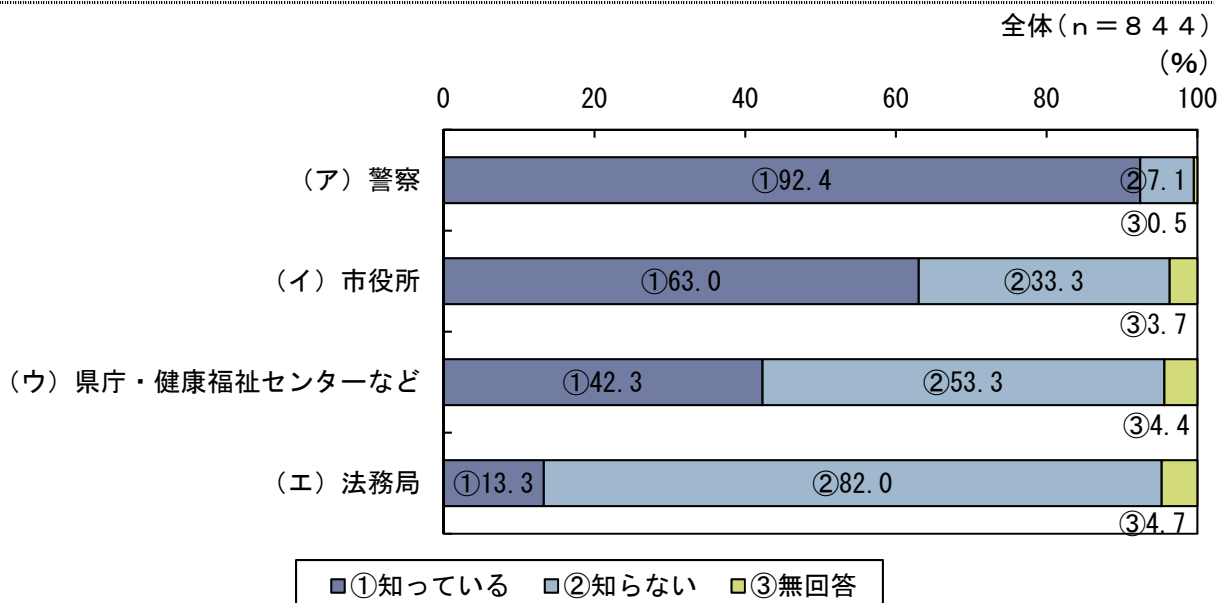
問 17. あなたは、(ア)～(エ)の行為がDVになりうることを知っていますか。(それぞれ○は1つ)



DVになりうる行為について知っているか尋ねたところ、「知っている」という回答が最も多かったのは「平手でうつ、足でける、髪を引っばる、腕をねじる、凶器を体につきつける、引きずりまわす、物を投げつける」の95.9%で、次いで「大声でどなる、人前でバカにしたり命令口調でものを言う、実家や友人との付き合いを制限、電話やメールを細かくチェック、子どもに危害を加えると言っておどす」が、90.5%、「嫌がっているのに性行為を強要、中絶を強要、避妊に協力しない」が89.3%となっている。

◆DVに関する相談窓口の周知度

問 18. あなたは、DVについて、(ア)～(エ)の機関で相談できることを知っていますか。(それぞれ○は1つ)



DVに関する相談窓口について知っているか尋ねたところ、「知っている」という回答が最も多かったのは「警察」の92.4%で、次いで「市役所」が63.0%となっている。

[男女共同参画社会実現のため力を入れていくべきこと]

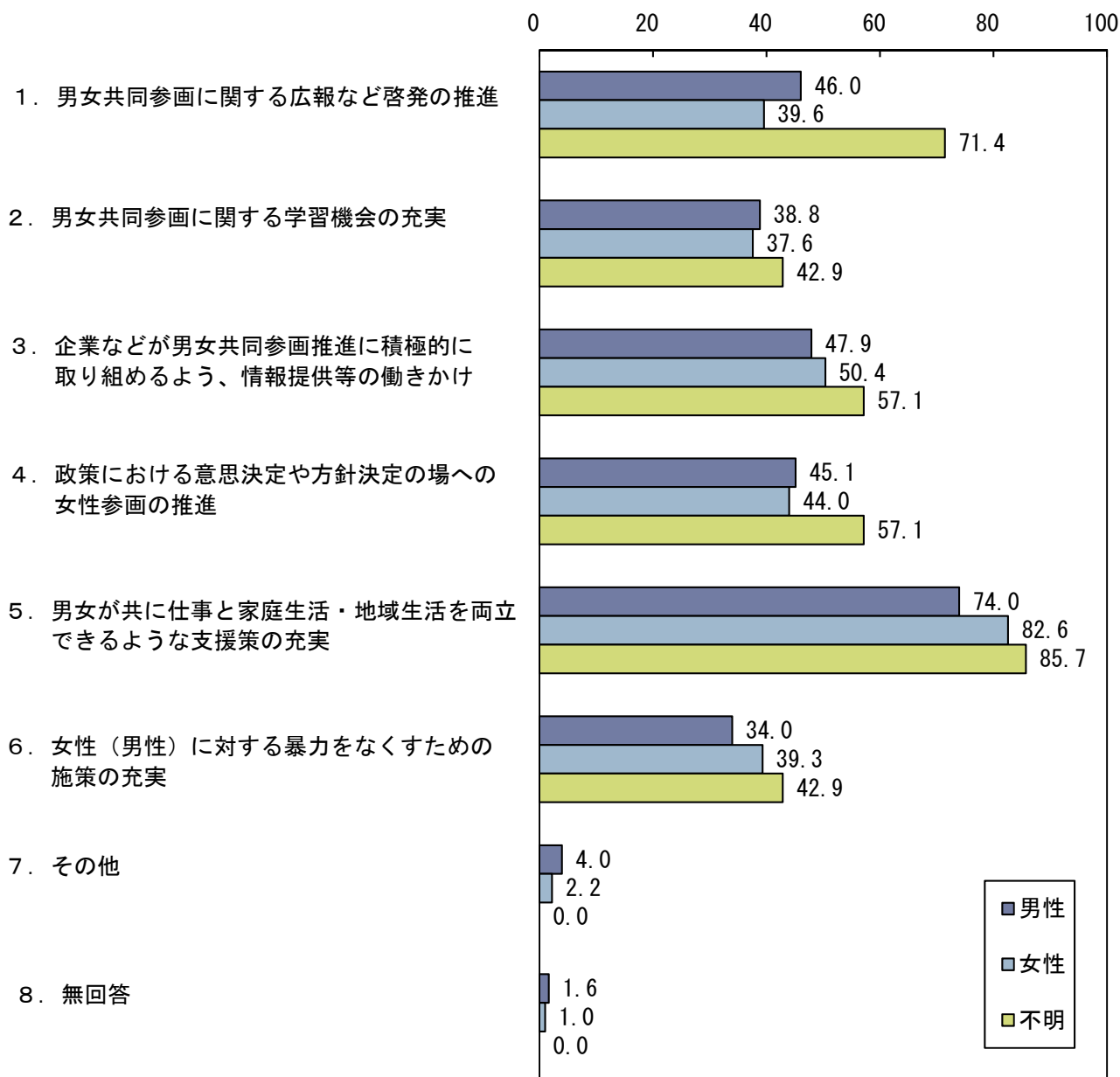
◆男女共同参画社会実現に必要なこと

問 19. 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

【性別による比較】

男性(n=430) 女性(n=407) 不明(n=7)

(%)



「男女共同参画社会」を実現するために、市がどのようなことに力を入れていくべきか尋ねたところ、男女とも「男性が共に仕事と家庭生活・地域生活を両立できるような支援策の充実」が最も多く、男性が74.0%女性は82.6%となっている。

Ⅲ 質問と単純集計表

回答者の属性

【性 別】

男 性	4 3 0 人 (5 0 . 9 %)	※うち自認する性（男性1名）を含む
女 性	4 0 7 人 (4 8 . 2 %)	
不 明	7 人 (0 . 8 %)	
(n)	8 4 4 人 (1 0 0 . 0 %)	(n) = 比率算出の基礎

【年代別】

	(全体)	(男性)	(女性)	(不明)
～20代	1 4 4 人 (1 7 . 1 %)	7 7 人 (1 7 . 9 %)	6 7 人 (1 6 . 5 %)	0 人 (0 . 0 %)
30代	1 3 5 人 (1 6 . 0 %)	6 3 人 (1 4 . 7 %)	7 2 人 (1 7 . 7 %)	0 人 (0 . 0 %)
40代	1 5 9 人 (1 8 . 8 %)	7 6 人 (1 7 . 7 %)	8 3 人 (2 0 . 4 %)	0 人 (0 . 0 %)
50代	1 1 9 人 (1 4 . 1 %)	6 4 人 (1 4 . 9 %)	5 5 人 (1 3 . 5 %)	0 人 (0 . 0 %)
60代	1 3 6 人 (1 6 . 1 %)	6 8 人 (1 5 . 8 %)	6 6 人 (1 6 . 2 %)	2 人 (2 8 . 6 %)
70代	1 4 8 人 (1 7 . 5 %)	8 2 人 (1 9 . 1 %)	6 4 人 (1 5 . 7 %)	2 人 (2 8 . 6 %)
不 明	3 人 (0 . 4 %)	0 人 (0 . 0 %)	0 人 (0 . 0 %)	3 人 (4 2 . 9 %)
	8 4 4 人	4 3 0 人	4 0 7 人	7 人

【職 業】

1. 正規の社員	3 1 8 人 (3 7 . 7 %)
2. パート、アルバイト、契約、派遣、嘱託の社員	1 7 2 人 (2 0 . 4 %)
3. 自営業、経営者、自由業（社長、商店主、開業医、著述家、フリーランスなど）	4 0 人 (4 . 7 %)
4. 家族従業員	9 人 (1 . 1 %)
5. 家事専業	9 8 人 (1 1 . 6 %)
6. 学生	6 3 人 (7 . 5 %)
7. 無職	1 3 1 人 (1 5 . 5 %)
8. その他	8 人 (0 . 9 %)
不明	5 人 (0 . 6 %)
	8 4 4 人

※性別ごと	男性	女性	不明
1. 正規の社員	228人(53.0%)	90人(22.1%)	0人(0.0%)
2. パート、アルバイト、契約、派遣、嘱託の社員	47人(10.9%)	125人(30.7%)	0人(0.0%)
3. 自営業、経営者、自由業（社長、商店主、開業医、著述家、フリーランスなど）	29人(6.7%)	11人(2.7%)	0人(0.0%)
4. 家族従業員	1人(0.2%)	7人(1.7%)	1人(14.3%)
5. 家事専業	1人(0.2%)	96人(23.6%)	1人(14.3%)
6. 学生	32人(7.4%)	31人(7.6%)	0人(0.0%)
7. 無職	87人(20.2%)	42人(10.3%)	2人(28.6%)
8. その他	5人(1.2%)	3人(0.7%)	0人(0.0%)
不明	0人(0.0%)	2人(0.5%)	3人(42.9%)
	430人	407人	7人

【結 婚】

1. 結婚している(事実婚を含む)	556人(65.9%)
2. 結婚していない(離婚や死別を含む)	283人(33.5%)
不明	5人(0.6%)
	844人

※性別ごと	男性	女性	不明
1. 結婚している(事実婚を含む)	295人(68.6%)	259人(63.6%)	2人(28.6%)
2. 結婚していない(離婚や死別を含む)	135人(31.4%)	146人(35.9%)	2人(28.6%)
不明	0人(0.0%)	2人(0.5%)	3人(42.9%)
	430人	407人	7人

【配偶者の職業】(結婚している人のみ。結婚には、事実婚を含む)

1. 正規の社員	192人(34.5%)
2. パート、アルバイト、契約、派遣、嘱託の社員	130人(23.4%)
3. 自営業、経営者、自由業（社長、商店主、開業医、著述家、フリーランスなど）	35人(6.3%)
4. 家族従業員	7人(1.3%)
5. 家事専業	65人(11.7%)
6. 学生	1人(0.2%)
7. 無職	119人(21.4%)
8. その他	2人(0.4%)
不明	5人(0.9%)
	556人

※性別ごと	男性	女性	不明
1. 正規の社員	47人(15.9%)	145人(56.0%)	0人(0.0%)
2. パート、アルバイト、契約、派遣、嘱託の社員	103人(34.9%)	27人(10.4%)	0人(0.0%)
3. 自営業、経営者、自由業(社長、商店主、開業医、著述家、フリーランスなど)	8人(2.7%)	26人(10.0%)	1人(50.0%)
4. 家族従業員	7人(2.4%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)
5. 家事専業	64人(21.7%)	1人(0.4%)	0人(0.0%)
6. 学生	1人(0.3%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)
7. 無職	63人(21.4%)	55人(21.2%)	1人(50.0%)
8. その他	2人(0.7%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)
不明	0人(0.0%)	5人(1.9%)	0人(0.0%)
	295人	259人	2人

【子ども】(同居の子どもに限る)

1. 子どもはいない	328人(38.9%)
2. 未就学児	110人(13.0%)
3. 小学生	56人(6.6%)
4. 中学生	29人(3.4%)
5. 中学卒業以上で18歳未満	16人(1.9%)
6. 18歳以上	242人(28.7%)
不明	63人(7.5%)
	844人

※性別ごと	男性	女性	不明
1. 子どもはいない	170人(39.5%)	158人(38.8%)	0人(0.0%)
2. 未就学児	52人(12.1%)	58人(14.3%)	0人(0.0%)
3. 小学生	32人(7.4%)	24人(5.9%)	0人(0.0%)
4. 中学生	16人(3.7%)	13人(3.2%)	0人(0.0%)
5. 中学卒業以上で18歳未満	11人(2.6%)	5人(1.2%)	0人(0.0%)
6. 18歳以上	119人(27.7%)	120人(29.5%)	3人(42.9%)
不明	30人(7.0%)	29人(7.1%)	4人(57.1%)
	430人	407人	7人

[男女共同参画について]

問 1. これらの言葉を、あなたは見たり聞いたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 男女共同参画社会	59.0	76.4	53.3	47.8	46.2	62.5	67.6	0.0	62.8	55.5	28.6
(2) ジェンダー（社会的・ 文化的に形成された性別）	75.5	87.5	88.9	81.1	80.7	70.6	47.3	0.0	73.3	78.9	14.3
(3) 男女雇用機会均等法	85.0	75.7	80.0	85.5	91.6	92.6	87.2	0.0	86.7	84.0	28.6
(4) 女性活躍推進法	45.3	40.3	52.6	49.1	43.7	44.1	42.6	0.0	50.5	40.0	28.6
(5) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	55.8	68.8	58.5	58.5	58.0	52.2	40.5	0.0	59.5	52.6	14.3
(6) 配偶者等からの暴力（DV）	88.9	88.9	92.6	88.7	91.6	92.6	81.8	0.0	87.4	91.2	42.9
(7) デートDV	38.0	52.8	38.5	44.7	32.8	30.9	27.7	0.0	34.2	42.8	0.0
(8) セクシャル・ハラスメント	92.5	95.1	96.3	93.1	95.8	94.9	83.1	0.0	91.4	94.8	28.6
(9) 妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント（マタニティ・ハラスメント等）	86.6	85.4	91.9	89.3	90.8	86.8	78.4	0.0	84.2	90.2	28.6
(10) 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律	22.7	19.4	20.0	20.1	22.7	23.5	31.1	0.0	29.3	16.2	0.0
(11) 見たり聞いたりしたものはない	1.8	2.8	1.5	0.6	0.8	0.7	4.1	0.0	1.9	1.7	0.0
無回答	1.3	0.7	0.7	1.3	0.8	0.0	2.0	100.0	1.2	0.7	42.9

[男女の平等感について]

問2. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。(〇は1つ)

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) そう思う	3.2	2.8	2.2	4.4	2.5	1.5	4.7	33.3	4.2	2.0	14.3
(2) どちらかといえばそう 思う	21.2	16.0	23.0	21.4	26.1	17.6	23.0	66.7	22.1	19.7	57.1
(3) どちらかといえばそう 思わない	23.0	17.4	19.3	26.4	29.4	28.7	18.2	0.0	22.6	23.8	0.0
(4) そう思わない	47.6	54.2	51.1	41.5	39.5	50.7	49.3	0.0	46.5	49.1	28.6
無回答	5.0	9.7	4.4	6.3	2.5	1.5	4.7	0.0	4.7	5.4	0.0

問3. あなたは、次の場面で男女の地位はどのようになっていると思いますか。(それぞれ〇は1つ)

(ア) 家庭の中で

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 男性が優遇されている	11.6	5.6	11.1	11.9	14.3	14.7	12.8	0.0	6.5	17.2	0.0
(2) どちらかといえば男性 が優遇されている	38.6	25.0	37.0	37.7	44.5	46.3	42.6	33.3	34.4	43.0	42.9
(3) 平等になっている	36.8	48.6	36.3	36.5	31.9	30.9	35.8	33.3	44.7	28.5	42.9
(4) どちらかといえば女性 が優遇されている	8.9	14.6	10.4	10.1	8.4	2.9	6.1	33.3	10.0	7.6	14.3
(5) 女性が優遇されている	2.1	5.6	3.7	1.3	0.0	0.7	1.4	0.0	2.6	1.7	0.0
無回答	1.9	0.7	1.5	2.5	0.8	4.4	1.4	0.0	1.9	2.0	0.0

(イ)職場の中で

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 男性が優遇されている	19.5	15.3	15.6	17.6	16.0	25.0	27.7	0.0	14.4	25.1	14.3
(2) どちらかといえば男性 が優遇されている	43.0	36.8	41.5	39.6	51.3	49.3	41.2	66.7	40.7	45.2	57.1
(3) 平等になっている	25.5	32.6	33.3	28.9	21.8	16.9	18.9	0.0	30.5	20.4	14.3
(4) どちらかといえば女性 が優遇されている	7.1	13.2	4.4	8.8	9.2	4.4	2.0	33.3	10.0	3.9	14.3
(5) 女性が優遇されている	1.1	0.7	3.7	1.3	0.0	0.7	0.0	0.0	1.6	0.5	0.0
無回答	3.8	1.4	1.5	3.8	1.7	3.7	10.1	0.0	2.8	4.9	0.0

(ウ)地域の中で

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 男性が優遇されている	9.2	6.3	9.6	5.7	5.9	13.2	14.9	0.0	7.0	11.8	0.0
(2) どちらかといえば男性 が優遇されている	37.0	20.1	31.1	42.8	45.4	47.8	35.1	66.7	32.1	41.5	71.4
(3) 平等になっている	43.6	64.6	45.2	40.3	38.7	29.4	43.2	0.0	48.6	38.8	14.3
(4) どちらかといえば女性 が優遇されている	5.5	6.9	8.9	5.7	5.0	5.1	1.4	0.0	7.7	3.2	0.0
(5) 女性が優遇されている	0.9	0.7	3.0	0.0	0.0	0.7	1.4	0.0	1.9	0.0	0.0
無回答	3.8	1.4	2.2	5.7	5.0	3.7	4.1	33.3	2.8	4.7	14.3

(エ)しきたりや習慣で

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 男性が優遇されている	24.5	17.4	24.4	30.8	26.1	26.5	22.3	0.0	17.9	31.9	0.0
(2) どちらかといえば男性 が優遇されている	47.4	38.9	46.7	44.7	52.1	58.1	45.9	33.3	46.5	48.2	57.1
(3) 平等になっている	21.7	39.6	21.5	17.6	17.6	12.5	20.3	33.3	27.0	16.2	14.3
(4) どちらかといえば女性 が優遇されている	3.3	2.8	3.0	5.0	2.5	0.7	5.4	0.0	5.3	1.0	14.3
(5) 女性が優遇されている	0.6	0.0	2.2	0.0	0.8	0.7	0.0	0.0	0.7	0.5	0.0
無回答	2.5	1.4	2.2	1.9	0.8	1.5	6.1	33.3	2.6	2.2	14.3

(オ) 法律や制度の上で

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 男性が優遇されている	14.7	10.4	15.6	16.4	10.9	16.9	17.6	0.0	8.8	21.1	0.0
(2) どちらかといえば男性が優遇されている	39.1	25.7	40.7	37.7	49.6	47.8	35.8	33.3	34.9	43.7	28.6
(3) 平等になっている	36.0	47.2	32.6	35.2	28.6	31.6	39.2	33.3	43.7	27.5	57.1
(4) どちらかといえば女性が優遇されている	5.5	11.8	7.4	5.7	7.6	0.7	0.0	0.0	6.7	4.2	0.0
(5) 女性が優遇されている	1.5	3.5	2.2	2.5	0.0	0.0	0.7	0.0	2.6	0.5	0.0
無回答	3.2	1.4	1.5	2.5	3.4	2.9	6.8	33.3	3.3	2.9	14.3

(カ) 政治の場で

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 男性が優遇されている	38.7	34.7	43.7	39.0	36.1	40.4	38.5	33.3	30.7	47.4	28.6
(2) どちらかといえば男性が優遇されている	43.0	43.1	40.0	39.6	47.9	45.6	43.2	33.3	44.0	41.8	57.1
(3) 平等になっている	14.5	20.1	13.3	17.0	12.6	10.3	12.8	0.0	20.9	7.9	0.0
(4) どちらかといえば女性が優遇されている	0.8	0.7	0.7	1.3	1.7	0.7	0.0	0.0	1.2	0.5	0.0
(5) 女性が優遇されている	0.2	0.0	0.7	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
無回答	2.7	1.4	1.5	2.5	1.7	2.9	5.4	33.3	2.8	2.5	14.3

(キ) 教育の場で

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 男性が優遇されている	7.3	5.6	7.4	5.0	4.2	10.3	11.5	0.0	4.2	10.8	0.0
(2) どちらかといえば男性が優遇されている	25.8	17.4	24.4	28.9	29.4	28.7	25.7	66.7	23.3	28.0	57.1
(3) 平等になっている	59.1	69.4	60.0	56.0	62.2	56.6	52.7	0.0	64.2	54.3	28.6
(4) どちらかといえば女性が優遇されている	3.2	5.6	4.4	3.8	2.5	1.5	1.4	0.0	4.4	2.0	0.0
(5) 女性が優遇されている	0.8	0.7	2.2	0.6	0.8	0.0	0.7	0.0	1.2	0.5	0.0
無回答	3.7	1.4	1.5	5.7	0.8	2.9	8.1	33.3	2.8	4.4	14.3

(ク)社会全体として

(%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 男性が優遇されている	14.9	13.9	14.1	13.8	11.8	14.7	20.3	33.3	9.8	20.1	28.6
(2) どちらかといえば男性 が優遇されている	59.2	44.4	57.0	59.1	66.4	67.6	62.2	66.7	56.7	61.9	57.1
(3) 平等になっている	18.7	31.9	20.0	18.9	12.6	13.2	14.9	0.0	23.0	14.3	14.3
(4) どちらかといえば女性 が優遇されている	3.8	6.9	4.4	4.4	5.9	1.5	0.0	0.0	5.3	2.2	0.0
(5) 女性が優遇されている	1.1	1.4	2.2	1.3	0.8	0.7	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
無回答	2.3	1.4	2.2	2.5	2.5	2.2	2.7	0.0	3.0	1.5	0.0

[女性の活躍について]

問4. 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。

(〇は1つ)

(%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 女性は職業をもたない方がよい	0.5	0.0	0.7	0.6	0.0	0.7	0.7	0.0	0.7	0.2	0.0
(2) 結婚するまでは職業をもつ方がよい	2.1	3.5	3.7	1.9	1.7	1.5	0.7	0.0	1.4	2.9	0.0
(3) 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	6.6	9.7	3.0	4.4	8.4	7.4	7.4	0.0	7.9	5.2	14.3
(4) 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	47.4	44.4	54.8	48.4	43.7	46.3	46.6	33.3	48.1	46.9	28.6
(5) 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい	31.0	28.5	23.0	27.7	29.4	38.2	38.5	66.7	30.7	31.0	57.1
(6) その他	11.3	13.2	13.3	15.1	16.8	5.1	4.7	0.0	9.8	13.0	0.0
無回答	1.1	0.7	1.5	1.9	0.0	0.7	1.4	0.0	1.4	0.7	0.0

「その他」の内容	件数
本人の意思で自由に選択すればよい	60
本人を取り巻く環境や状況による	18
働く女性に協力的な社会、サポートしてくれる社会になればよい	5
子どもの成長に合わせて復職するとよい	2
働けば良い	2
その他	4
合 計	91

問5. あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 保育所や放課後ルーム など、子どもを預けら れる環境の整備	88.5	88.2	89.6	88.7	90.8	89.7	85.8	33.3	87.0	90.4	71.4
(2) 介護支援サービスの充 実	46.1	37.5	47.4	42.8	48.7	47.8	53.4	33.3	42.3	50.1	42.9
(3) 家事・育児支援サービ スの充実	56.5	55.6	58.5	60.4	53.8	53.7	56.8	33.3	56.5	56.8	42.9
(4) 男性の家事参加への理 解・意識改革	74.2	80.6	78.5	77.4	72.3	69.9	66.2	66.7	69.3	79.1	85.7
(5) 女性が働き続けること への周囲の理解・意識 改革	71.4	78.5	75.6	66.7	68.1	69.1	70.9	66.7	67.9	74.9	85.7
(6) 働き続けることへの女 性自身の意識改革	35.4	26.4	34.1	36.5	29.4	41.9	42.6	66.7	33.7	36.9	57.1
(7) 男女双方の長時間労働 の改善を含めた働き方 改革	58.5	61.1	65.2	61.0	52.9	58.8	52.0	33.3	55.1	61.9	71.4
(8) 職場における育児・介 護との両立支援制度の 充実	67.2	66.7	75.6	63.5	65.5	69.9	63.5	33.3	63.0	72.0	42.9
(9) 短時間勤務制度や在宅 勤務制度などの導入	67.3	74.3	78.5	68.6	68.1	66.9	49.3	33.3	63.5	71.3	71.4
(10) 育児や介護による仕 事への制約を理由とし た昇進などへの不利益 な取り扱いの禁止	53.4	55.6	62.2	52.8	46.2	52.9	50.7	33.3	48.4	58.7	57.1
(11) その他	2.5	2.1	1.5	4.4	1.7	2.2	2.7	0.0	3.0	2.0	0.0
無回答	0.9	0.7	0.7	1.3	0.0	0.7	2.0	0.0	1.2	0.7	0.0

「その他」の内容	件数
外部サービスなどへの社会や会社からの補助、賃金増加	3
産休育休代替人員の確保、同僚の負担軽減	3
周囲や同僚の理解	3
その他	8
合計	17

問6. 次にあげる職業や役職において、今後女性がもっと増えると思うのはどれですか。

(〇はいくつでも)

(%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 市議会議員	50.5	43.8	48.9	49.7	47.9	53.7	58.1	66.7	50.9	49.6	71.4
(2) 市の審議会等の委員	30.3	22.2	33.3	25.2	25.2	34.6	41.2	33.3	29.8	30.7	42.9
(3) 市の職員の管理職	39.9	26.4	37.0	40.3	35.3	50.0	50.0	33.3	41.4	38.1	57.1
(4) 自治会長、町会長	23.2	20.1	23.0	20.8	22.7	22.8	29.7	33.3	24.2	21.9	42.9
(5) 企業の管理職	51.5	43.1	48.1	58.5	48.7	57.4	53.4	0.0	52.3	51.1	28.6
(6) 特にない	17.1	16.7	19.3	18.9	19.3	14.0	14.2	33.3	20.2	13.8	14.3
(7) わからない	14.3	26.4	20.0	11.3	16.0	8.8	4.7	0.0	10.7	18.4	0.0
無回答	1.3	1.4	1.5	0.6	0.8	1.5	2.0	0.0	1.4	1.2	0.0

問7. 育児休業や介護休業を取る男性は女性に比べて少ない現状がありますが、その主な要因としてあなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。(〇は1つ)

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 職場の理解を得られないから	24.9	22.9	23.7	28.9	21.0	27.9	24.3	0.0	23.5	26.3	28.6
(2) 仕事の量や責任が重いから	9.8	8.3	6.7	14.5	8.4	7.4	12.8	0.0	12.6	7.1	0.0
(3) 昇進や昇給に影響する恐れがあるから	7.3	8.3	7.4	4.4	4.2	5.1	14.2	0.0	7.7	6.9	14.3
(4) 休業後の職場復帰に不安があるから	6.0	9.0	2.2	3.1	3.4	8.1	10.1	0.0	6.5	5.4	14.3
(5) 休業中は収入が減り、家計が苦しくなるから	7.5	6.9	11.1	6.3	8.4	7.4	5.4	0.0	8.4	6.6	0.0
(6) 育児や介護への抵抗感が男性自身にあるから	5.3	4.2	4.4	3.1	5.0	8.1	6.1	66.7	3.3	7.1	28.6
(7) 育児や介護は女性の役割だと思うから	3.1	3.5	2.2	1.9	2.5	1.5	6.8	0.0	1.4	4.9	0.0
(8) その他	2.7	2.1	4.4	3.1	5.0	0.7	1.4	0.0	3.0	2.5	0.0
(9) わからない	2.3	2.8	0.0	1.3	2.5	3.7	3.4	0.0	2.1	2.5	0.0
無回答	31.0	31.9	37.8	33.3	39.5	30.1	15.5	33.3	31.6	30.7	14.3

「その他」の内容	件数
男性は仕事，女性は家庭という考えがあるから	11
会社に制度がない，法制度が十分でない	3
わからない	3
個々の家庭・夫婦の方針だから	2
男性が休業しても役に立たないから	2
その他	2
合計	23

【仕事と家庭生活、地域活動について】

問 8. 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの希望に最も近いものと、あなたの現実にもっと近いものをお伺いします。(それぞれ〇は1つ)

＜希望＞

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1)「仕事」優先	3.0	2.1	3.0	1.3	2.5	5.1	4.1	0.0	4.4	1.5	0.0
(2)「家庭生活」優先	17.2	8.3	25.9	23.3	18.5	16.9	10.8	0.0	15.6	19.2	0.0
(3)「地域・個人の生活」 優先	5.0	15.3	3.0	1.3	1.7	2.9	4.7	33.3	5.3	4.4	14.3
(4)「仕事」と「家庭生 活」優先	28.6	22.2	33.3	23.3	31.1	33.1	30.4	0.0	31.6	25.8	0.0
(5)「仕事」と「地域・ 個人の生活」優先	5.1	8.3	1.5	5.7	5.0	4.4	5.4	0.0	5.1	5.2	0.0
(6)「家庭生活」と「地 域・個人の生活」優先	13.0	16.0	14.8	11.3	9.2	9.6	16.9	0.0	13.3	13.0	0.0
(7)「仕事」と「家庭生 活」と「地域・個人の 生活」をともに優先	26.1	26.4	17.8	33.3	29.4	27.2	21.6	33.3	22.8	28.7	71.4
無回答	2.1	1.4	0.7	0.6	2.5	0.7	6.1	33.3	1.9	2.2	14.3

<現実>

(%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1)「仕事」優先	40.8	44.4	43.0	42.8	41.2	39.7	34.5	0.0	53.5	27.0	57.1
(2)「家庭生活」優先	15.0	6.9	17.8	15.1	16.8	16.2	18.2	0.0	5.8	25.1	0.0
(3)「地域・個人の生活」 優先	3.7	9.0	0.7	1.3	1.7	3.7	5.4	0.0	4.2	3.2	0.0
(4)「仕事」と「家庭生 活」優先	23.6	16.0	27.4	28.9	26.9	28.7	14.9	0.0	21.9	25.8	0.0
(5)「仕事」と「地域・個 人の生活」優先	3.3	9.0	4.4	1.3	1.7	0.7	2.7	0.0	4.0	2.7	0.0
(6)「家庭生活」と「地 域・個人の生活」優先	5.9	6.3	3.0	5.7	2.5	7.4	9.5	33.3	3.5	8.4	14.3
(7)「仕事」と「家庭生 活」と「地域・個人の生 活」をともに優先	5.0	6.9	3.0	4.4	5.9	2.9	6.1	33.3	4.7	5.2	14.3
無回答	2.7	1.4	0.7	0.6	3.4	0.7	8.8	33.3	2.6	2.7	14.3

問9. 次にあげる地域活動の中で、あなたが「参加したことがある活動」と、「今後参加したい活動」についてお伺いします。(それぞれ〇はいくつでも)

<参加したことがある活動>

(%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1)町会・自治会での活動	41.7	24.3	23.0	42.8	49.6	55.1	56.8	0.0	38.4	45.5	28.6
(2)保護者会、PTAでの活動	28.4	2.1	13.3	37.1	39.5	47.8	32.4	0.0	11.2	47.2	0.0
(3)NPO、ボランティア団体等での活動	12.4	22.2	7.4	8.8	9.2	11.8	14.2	33.3	8.4	16.5	28.6
(4)趣味・スポーツ、教養・学習・文化に関する活動	39.0	40.3	29.6	26.4	33.6	47.8	56.1	33.3	36.0	41.8	57.1
(5)その他	1.7	1.4	0.7	2.5	3.4	0.7	0.7	33.3	1.4	1.7	14.3
(6)参加したことはない	30.5	39.6	48.9	34.6	22.7	19.9	16.2	33.3	36.0	24.8	14.3
無回答	1.1	0.7	0.7	0.6	0.8	0.7	2.7	0.0	1.4	0.7	0.0

<今後参加したい活動>

(%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1)町会・自治会での活動	8.8	9.7	6.7	7.5	7.6	6.6	14.2	0.0	10.7	6.9	0.0
(2)保護者会、PTAでの活動	4.0	2.1	11.1	6.9	3.4	0.0	0.7	0.0	4.7	3.4	0.0
(3)NPO、ボランティア団体等での活動	20.6	26.4	11.9	22.6	24.4	24.3	14.9	0.0	19.8	21.4	28.6
(4)趣味・スポーツ、教養・学習・文化に関する活動	50.6	44.4	42.2	45.9	62.2	57.4	54.1	33.3	48.1	53.3	42.9
(5)その他	0.6	0.7	0.0	0.6	1.7	0.0	0.7	0.0	0.5	0.7	0.0
(6)今後参加したい活動はない	33.8	38.9	48.1	36.5	25.2	27.2	25.7	33.3	34.7	32.9	28.6
無回答	2.1	1.4	0.0	1.9	1.7	0.7	6.1	33.3	2.3	1.7	14.3

問１０． 問９で「６． 今後参加したい活動はない」を選んだ理由は何ですか。（〇はいくつでも）

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	285	56	65	58	30	37	38	1	149	134	2
(1) 関心がないから	44.2	44.6	46.2	43.1	30.0	48.6	50.0	0.0	48.3	40.3	0.0
(2) 時間が足りない・忙しいから	43.2	55.4	50.8	53.4	43.3	32.4	7.9	0.0	40.3	47.0	0.0
(3) 参加の仕方がわからないから	6.3	10.7	6.2	0.0	10.0	5.4	7.9	0.0	8.1	4.5	0.0
(4) 活動内容がわからないから	15.1	21.4	10.8	17.2	10.0	8.1	21.1	0.0	10.7	20.1	0.0
(5) その他	11.9	3.6	9.2	5.2	16.7	13.5	31.6	100.0	9.4	13.4	100.0
無回答	0.4	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0

「その他」の内容	件数
身体や健康上の理由	8
個人の活動，趣味などを優先させたいから	5
年齢のため	4
活動に価値を見い出せない，好きじゃない	3
大変だから	3
町会・自治会等がない，地域と関りがない	3
積極的に関わりたくない，人間関係が面倒	2
その他	4
合 計	32

[性的少数者について]

問 1 1. あなたは「性的少数者」または「L G B T」という言葉について聞いたことがありますか。また、意味を知っていますか。(〇は1つ)

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 言葉も意味も知っている	82.1	85.4	91.1	85.5	84.0	79.4	67.6	100.0	78.8	85.7	71.4
(2) 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない	10.3	6.9	3.0	6.9	10.9	14.7	19.6	0.0	11.6	8.6	28.6
(3) 言葉も意味も知らない	6.5	6.9	5.9	6.9	4.2	5.1	9.5	0.0	8.1	4.9	0.0
無回答	1.1	0.7	0.0	0.6	0.8	0.7	3.4	0.0	1.4	0.7	0.0

問 1 2. あなたは、性的少数者の方が社会的な差別や偏見を受けていると思いますか。(〇は1つ)

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) そう思う	65.0	77.1	71.9	72.3	66.4	58.1	45.3	33.3	63.0	67.3	57.1
(2) そう思わない	8.2	2.8	6.7	10.1	10.1	11.8	8.1	0.0	10.5	5.9	0.0
(3) わからない	23.7	19.4	20.7	17.6	22.7	25.7	35.8	33.3	23.3	24.1	28.6
無回答	3.1	0.7	0.7	0.0	0.8	4.4	10.8	33.3	3.3	2.7	14.3

問 1 3. 問 1 2 で「1. そう思う」を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	549	111	97	115	79	79	67	1	271	274	4
(1) いじめ（悪口、いやが らせなど）を受ける	54.5	47.7	53.6	50.4	54.4	64.6	61.2	100. 0	55.4	53.3	75.0
(2) 自らが認識する性とは 異なる性のふるまい （服装、言葉遣いな ど）を強要される	39.9	42.3	48.5	40.0	32.9	36.7	34.3	100. 0	32.8	46.7	50.0
(3) 性別で区分された設備 （トイレなど）を使い づらい	52.6	47.7	60.8	51.3	51.9	59.5	44.8	0.0	48.0	57.7	25.0
(4) 申請書などへの性別の 記入	35.3	36.0	44.3	32.2	26.6	36.7	35.8	0.0	31.4	39.4	25.0
(5) 周囲の理解が得られな い	71.9	76.6	71.1	68.7	65.8	73.4	76.1	100. 0	70.8	73.0	75.0
(6) 就職、仕事、待遇など で不利・不当な扱いを受 ける	39.2	30.6	35.1	39.1	32.9	49.4	53.7	100. 0	39.9	38.3	50.0
(7) 同性のパートナーとの 関係を認めてもらえな い	44.8	54.1	57.7	37.4	44.3	43.0	25.4	100. 0	41.3	48.5	25.0
(8) 住宅を借りづらい	17.5	17.1	18.6	14.8	13.9	17.7	25.4	0.0	16.6	18.6	0.0
(9) 法整備が不十分であ り、婚姻や相続などで 不利益を受けている	51.7	55.0	54.6	47.0	55.7	51.9	46.3	0.0	49.4	54.7	0.0
(10) 行政機関などの相 談・支援体制が不十分	23.5	20.7	24.7	19.1	22.8	27.8	29.9	0.0	22.1	25.2	0.0
(11) その他	2.4	4.5	2.1	2.6	3.8	0.0	0.0	0.0	3.3	1.5	0.0
無回答	0.4	0.0	1.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0

「その他」の内容	件数
偏見や差別が見られる	6
好き嫌いの問題だから	3
理解できないから	2
その他	2
合計	13

問 1 4. あなたの周りに、性的少数者である人はいますか。(〇は1つ)

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) いる	10.2	21.5	14.8	9.4	6.7	7.4	1.4	0.0	7.2	13.5	0.0
(2) そう思われる人はいる	9.6	11.8	13.3	11.9	10.9	7.4	2.7	0.0	9.3	10.1	0.0
(3) いない	45.0	36.1	35.6	43.4	47.9	53.7	54.1	33.3	44.9	44.7	71.4
(4) わからない	28.0	27.1	29.6	32.1	28.6	21.3	29.1	0.0	30.7	25.6	0.0
無回答	7.2	3.5	6.7	3.1	5.9	10.3	12.8	66.7	7.9	6.1	28.6

問 15. あなたは、性的少数者に対する差別や偏見のない社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1)啓発・広報活動の推進	33.1	27.1	29.6	33.3	36.1	34.6	38.5	0.0	34.9	31.4	14.3
(2)相談機能の充実	27.5	23.6	25.2	24.5	26.1	36.0	30.4	0.0	24.9	30.0	42.9
(3)法令の制定や制度の見直し	54.1	54.2	60.0	60.4	55.5	52.2	43.2	33.3	47.7	60.9	57.1
(4)子どもの頃からの教育	55.9	63.2	66.7	61.0	62.2	48.5	35.1	66.7	50.5	61.7	57.1
(5)その他	3.8	4.2	6.7	6.3	4.2	1.5	0.0	0.0	4.9	2.7	0.0
(6)わからない	10.0	9.0	5.2	7.5	10.1	11.8	16.2	0.0	11.9	8.1	0.0
無回答	4.9	1.4	5.2	1.9	2.5	5.1	12.2	33.3	4.7	4.9	14.3

「その他」の内容	件数
社会や周囲の理解	9
個々の意識改革	3
マスコミ、テレビでの扱い	3
何をやっても偏見はなくなる	2
差別や偏見はない、現状のままでよい	2
権利を主張しすぎではないか	2
わからない	2
その他	7
合計	30

【防災について】

問 16. 防災や災害対策において、男女の性別に配慮した対応が特に必要だと思うことを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 避難所運営の責任者に男女が共に配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点を入れること	57.6	54.9	53.3	60.4	61.3	56.6	59.5	33.3	53.5	62.2	42.9
(2) 市の防災会議に男女が共に参画し、防災計画に男女両方の視点が入ること	36.0	27.8	34.1	36.5	37.8	33.8	46.6	0.0	35.8	36.1	42.9
(3) 災害時の救援医療体制（乳幼児、障害者、妊産婦へのサポート体制）	51.7	61.8	61.5	44.0	51.3	50.0	43.9	0.0	51.4	52.3	28.6
(4) 避難所の設備（トイレ、更衣室、洗濯物の干場等）や備蓄品（生活用品等）	70.6	70.1	72.6	78.0	74.8	67.6	61.5	33.3	69.5	72.2	42.9
(5) 災害時に物資等を支給する際の配慮	18.6	24.3	18.5	17.6	17.6	17.6	15.5	33.3	19.1	17.9	28.6
(6) 被災者に対する相談体制	13.3	10.4	5.9	11.3	19.3	16.9	16.2	33.3	14.0	12.3	28.6
(7) その他	0.8	0.7	1.5	0.6	0.8	0.7	0.7	0.0	0.9	0.7	0.0
無回答	7.6	4.9	7.4	5.7	5.9	9.6	11.5	33.3	7.2	7.6	28.6

[配偶者等からの暴力（DV）について]

問 17. あなたは、(ア)～(エ)の行為がDVになりうることを知っていますか。(それぞれ○は1つ)

(ア)平手でうつ、足でける、髪を引っばる、腕をねじる、凶器を体につきつける、引きずりまわす、物を投げつける (%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1)知っている	95.9	98.6	98.5	98.1	97.5	96.3	87.8	33.3	94.7	97.5	71.4
(2)知らない	1.4	1.4	0.7	1.3	1.7	0.0	2.7	33.3	1.2	1.5	14.3
無回答	2.7	0.0	0.7	0.6	0.8	3.7	9.5	33.3	4.2	1.0	14.3

(イ)大声でどなる、人前でバカにしたり命令口調でものを言う、実家や友人との付き合いを制限、電話やメールを細かくチェック、子どもに危害を加えると言っておどす (%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1)知っている	90.5	89.6	94.8	96.2	91.6	89.0	83.1	33.3	90.0	91.4	71.4
(2)知らない	6.3	10.4	4.4	3.8	5.0	6.6	6.8	33.3	5.6	6.9	14.3
無回答	3.2	0.0	0.7	0.0	3.4	4.4	10.1	33.3	4.4	1.7	14.3

(ウ)生活費を渡さない、外で働くことを認めない、仕事を辞めさせたりする (%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1)知っている	84.4	84.0	86.7	91.8	89.9	80.1	75.0	33.3	83.7	85.5	57.1
(2)知らない	11.6	16.0	12.6	7.5	6.7	15.4	10.8	33.3	10.7	12.3	28.6
無回答	4.0	0.0	0.7	0.6	3.4	4.4	14.2	33.3	5.6	2.2	14.3

(エ)嫌がっているのに性行為を強要、中絶を強要、避妊に協力しない (%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1)知っている	89.3	96.5	90.4	95.6	91.6	86.0	77.0	33.3	88.8	90.2	71.4
(2)知らない	6.9	3.5	8.9	3.8	5.9	9.6	9.5	33.3	5.8	7.9	14.3
無回答	3.8	0.0	0.7	0.6	2.5	4.4	13.5	33.3	5.3	2.0	14.3

問 18. あなたは、DVについて、(ア)～(エ)の機関で相談できることを知っていますか。
(それぞれ〇は1つ)

(ア) 警察

(%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 知っている	92.4	89.6	93.3	89.9	95.0	97.1	90.5	100.0	90.9	93.9	100.0
(2) 知らない	7.1	10.4	6.7	9.4	5.0	2.2	8.1	0.0	8.4	5.9	0.0
無回答	0.5	0.0	0.0	0.6	0.0	0.7	1.4	0.0	0.7	0.2	0.0

(イ) 市役所

(%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 知っている	63.0	58.3	68.1	66.7	63.0	68.4	54.7	33.3	64.0	62.4	42.9
(2) 知らない	33.3	40.3	31.1	32.1	34.5	27.9	33.1	66.7	31.6	34.9	42.9
無回答	3.7	1.4	0.7	1.3	2.5	3.7	12.2	0.0	4.4	2.7	14.3

(ウ) 県庁・健康福祉センターなど

(%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 知っている	42.3	47.9	42.2	47.2	42.0	36.8	36.5	66.7	42.8	42.0	28.6
(2) 知らない	53.3	50.7	57.0	52.2	54.6	57.4	49.3	33.3	52.8	53.8	57.1
無回答	4.4	1.4	0.7	0.6	3.4	5.9	14.2	0.0	4.4	4.2	14.3

(エ) 法務局

(%)

	総計	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1) 知っている	13.3	18.8	12.6	11.3	8.4	10.3	16.9	33.3	18.1	7.9	28.6
(2) 知らない	82.0	80.6	86.7	86.8	87.4	83.1	68.9	66.7	77.0	87.7	57.1
無回答	4.7	0.7	0.7	1.9	4.2	6.6	14.2	0.0	4.9	4.4	14.3

〔男女共同参画社会実現のため力を入れていくべきこと〕

問 19. 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

(%)

	総計	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	男性	女性	不明
回答者数 n	844	144	135	159	119	136	148	3	430	407	7
(1)男女共同参画に関する 広報など啓発の推進	43.1	31.3	33.3	39.0	47.1	51.5	56.8	66.7	46.0	39.6	71.4
(2)男女共同参画に関する 学習機会の充実	38.3	49.3	40.0	35.2	38.7	30.9	35.1	66.7	38.8	37.6	42.9
(3)企業などが男女共同参 画推進に積極的に取り 組めるよう、情報提供 等の働きかけ	49.2	42.4	44.4	48.4	48.7	55.9	54.7	66.7	47.9	50.4	57.1
(4)政策における意思決定 や方針決定の場への女 性参画の推進	44.7	49.3	43.7	35.2	45.4	47.1	47.3	100.0	45.1	44.0	57.1
(5)男女が共に仕事と家庭 生活・地域生活を両立 できるような支援策の 充実	78.2	74.3	81.5	81.8	82.4	78.7	71.6	66.7	74.0	82.6	85.7
(6)女性（男性）に対する 暴力をなくすための施 策の充実	36.6	38.9	36.3	39.0	26.1	39.0	38.5	33.3	34.0	39.3	42.9
(7)その他	3.1	2.8	4.4	4.4	2.5	0.7	3.4	0.0	4.0	2.2	0.0
無回答	1.3	0.7	2.2	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	1.6	1.0	0.0

男女共同参画市民アンケート報告書

令和3年1月

発 行 船橋市市民生活部市民協働課

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25

TEL : 047 (436) 2107

FAX : 047 (436) 2299

E-mail : danjo@city.funabashi.lg.jp